

# 本 会 記 事

<p>会 告 2026年秋期(第179回)講演大会参加および講演 申込について ……528</p> <p>第16回 高校生ポスター発表募集案内 ……529</p> <p>2026年秋期講演大会 会場周辺のご案内 ……535</p> <p>2026年秋期講演大会日本金属学会・日本鉄鋼 協会合同懇親会開催参加募集のご案内 ……536</p> <p>2026年秋期講演大会関連広告掲載および付設 展示会、誌上展示会募集要領 ……537</p> <p>2026年秋期講演大会会期中の託児室設置の お知らせ ……538</p> <p>講演大会アーカイブサイトログイン仕様変更の お知らせ ……538</p> <p>第24回 World Materials Day Award 募集 ……538</p> <p>2027年度若手研究グループ新規申請募集 ……539</p> <p>研究会新規・更新申請募集 ……540</p> <p>日本金属学会各種研究費申請比較表 ……542</p> <p>2027年春期講演大会 <u>公募</u>シンポジウムテ ーマ募集 ……543</p> <p>2027年春期講演大会 <u>企画</u>シンポジウムテ ーマ募集 ……544</p> <p>2027年度金属学会シンポジウムのテーマ募集 …………… 544</p>	<p>金属学会講習会開催のご案内 ……549</p> <p>オンライン教育講座開催のご案内 ……550</p> <p>オンデマンド配信：オンライン教育講座 ……552</p> <p>研究集会 ……545</p> <p>掲示板 ……546</p> <p>新入会員 ……556</p> <p>会誌・欧文誌7号目次 ……557</p> <p>次号予告 ……558</p> <p>行事カレンダー ……559</p>
--	---

◎本会へのお問合せは下記URLをご利用下  
さい。  
<https://jimm.jp/contact/>

- 投稿規程・出版案内・入会申込はホームページをご利用  
下さい。
- 支部行事、掲示板、研究集会等の情報は、ホームペー  
ジにも掲載しております。
- 会員特典による「まてりあ」「Materials Transactions」  
の電子版の閲覧には、会員マイページにあるIDとパス  
ワードが必要です。

※2026年秋期講演大会参加をご検討の方へのお願い

9月の連休の影響および秋田市内のホテルの数に限りがあるため、秋田市内のホテル予約が取り難い状況になっております。各自において、お早めにホテル予約をお手配下さいますようお願い申し上げます。尚、本会では宿泊手配の補助などは行っておりませんので予めご了承下さい。また、旅程や宿泊の都合による講演日時の希望は承れませんのでご了承下さい。

2026年秋期(第179回)講演大会参加および講演申込について

2026年秋期講演大会を、9月23日(水・祝)から25日(金)まで、秋田大学手形キャンパスで開催します。  
今大会から、高校生ポスターセッションは、9月23日の現地開催のみとなります。  
参加申込みは、すべてインターネットでの申込みです。詳細は、下記参加申込要領をご確認下さい。優秀ポスター賞の選考方法の詳細は、ポスターセッションの項目をご確認下さい。

～ 講演大会日程(会期は3日間になります) ～

日 時	行 事
<p>9月23日(水・祝)</p> <p>9:00～ 9:40</p> <p>午後(予定)</p> <p>※応募件数によって は午前開始となる 場合もございます。</p> <p>10:00～17:00</p> <p>18:30～20:30</p>	<p>開会の辞、贈呈式 ポスターセッション、高校生ポスターセッション</p> <p>シンポジウム講演(一般講演は行いません)</p> <p>懇親会</p>
<p>9月24日(木)</p> <p>9:00～18:00</p>	<p>学術講演</p>
<p>9月25日(金)</p> <p>9:00～17:00</p>	<p>学術講演</p>

#### ◆懇親会

開催日時：2026年9月23日(水・祝) 18:30～20:30 (予定)

開催場所・料金：詳細が決まり次第案内いたします。

◆各シンポジウム講演・学術講演・ポスターセッション・ランチョンセミナー開催予定

◆学生ポスター発表プレ討論会開催予定：詳細は、本号533頁をご覧ください。

◆講演大会会場周辺のご案内：本号535頁をご覧ください。

## 日本金属学会2026年秋期(第179回)講演大会 第16回「高校生ポスター発表」募集案内

申込締切日：2026年7月14日(火)

### 「高校生ポスター発表」要領

学会名 日本金属学会2026年秋期(第179回)講演大会

行事名 「第16回高校生ポスター発表」

開催場所 秋田大学手形キャンパス

※これまで開催しておりましたオンライン発表は廃止となりました。

開催日時 2026年9月23日(水・祝)午後

対象者 高校生および3年以下の高専学生

テーマ 材料に限定せず、フリーテーマです。(課題研究の成果、科学技術の取組等)

ポスター発表資料：作成要領は別途連絡

講演申込 <https://data.jimm.jp/jim/pos/>

講演概要原稿 不要

参加費および講演聴講、その他

- ① 発表者、共同研究者および指導教員の参加費を免除し、講演大会の発表を聴講できる。
- ② 希望があれば、高校生・高専ポスター発表の関係者(親、友人)5名程度までの参加費を免除し、講演大会の発表を聴講することができる。
- ③ エントリーに登録された方々の参加証は現地で配布。それ以外の参加者がいる場合は、別途送付の申込書を返信する。
- ④ 指導教員宛てに、参加者用IDとパスワードおよびプログラム1部(PDF)を配布する。
- ⑤ 発表希望者全員に本会ユース会員の資格を贈呈する。
- ⑥ 昼食をとりながら、大学の先生のお話や学会についてのお話が聞ける、ランチョンセミナー(無料、時間は11:30～12:30の予定)を開催いたしますので、ご参加頂きます。本ランチョンセミナーには発表者、共同研究者、指導教員および発表関係者がご参加できます。  
なお、旅程の都合でランチョンセミナーへ参加できない場合もポスター発表することは可能です。その場合は、申込の際に「備考欄」にその旨を記載頂くか、または事務局へ申込締め切り日までにご連絡をお願いいたします。
- ⑦ ⑥の該当者はセミナー会場またはポスターセッション会場において、「缶バッジ作り」を体験できます。

高校生ポスター賞 優秀な発表には金属学会長賞、最優秀ポスター賞および優秀ポスター賞を授賞します。

問合せ・連絡先 (公社)日本金属学会 講演大会係 ☎ 022-223-3685 E-mail: [annualm@jimm.jp](mailto:annualm@jimm.jp)

## ～講演大会参加申込～

### ◆申込の種類と申込期間

(注意1：会員の方で、本年度会費未納の方は参加申込ができません。)

(注意2：締切日までに入金がない場合は、キャンセル扱いとなります。)

1) 事前申込(8月31日(月)の参加費納付をもって事前参加申込完了となります。)

申込期間：2026年5月27日(水)～8月31日(月)

2) 後期(当日)申込

申込期間：2026年9月1日(火)～9月25日(金)

3) 相互聴講(鉄鋼協会参加者 現地申込のみ)

申込期間：2026年9月23日(水・祝)～25日(金)

◆**申込サイト** : [https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login\(A-pass](https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login(A-pass) 作成またはログイン後, 申込開始.)

\*注意: 会員の方は, 年会費納入が完了していないと申し込みができません.

◆**決済方法**: クレジットカード, 銀行振込

◆**大会参加費(講演概要ダウンロード権含む)および登壇費** ※年会費とは異なります.

参加費・懇親会の消費税の取扱いは, ホームページ(一覧表 PDF)をご参照下さい.

会 員 資 格	事前参加申込 (2026年8月31日 まで)	後期(当日)申込 (2026年9月1日 ~9月25日)	相互聴講 (会期中のみ)	登壇費
正員	15,000円	18,000円	—	—
非会員の維持員会社社員	15,000円	18,000円	—	10,000円
非会員のシンポジウム共催・協賛の学協会会員	15,000円	18,000円	—	10,000円
2026年3月1日時点で65歳以上の個人会員*1	無 料	無 料	—	—
学生員*2	6,000円	7,000円	—	—
ユース会員*3(中高生会員, 高専専科1年生以下, 大学3年生以下)	無 料	無 料	—	5,000円*3
非会員*4 一般	29,000円	32,000円	—	10,000円
非会員*4 学生(大学院生含む)	14,000円	16,000円	—	5,000円
鉄鋼協会講演大会参加者(一般学生問わず) 講演者は選択できません.	—	—	6,000円	—

• お支払後の取消は, ご返金できませんのでご了承下さい.

• 期日までに支払いを確認できない場合は, キャンセルとさせていただきます.

• 領収書は, 決済完了後に申込画面(「講演大会 MyPage」)からダウンロードし, 印刷して下さい.

\*1 **65歳以上の個人会員**: 会員情報に生年月日の登録がない場合は課金されます. 会員情報に生年月日を登録していない方は, **参加申込みの前に [annualm@jimm.jp](mailto:annualm@jimm.jp)** まで会員番号・氏名・連絡先・生年月日をお知らせ下さい.

\*2 **学生員**: 卒業予定変更等により登録されている会員種別が実際と異なる場合は, **事前に会員種別の変更手続きを行うてから**, 大会参加を申込み下さい. 会員情報に登録された卒業年次を超えると, 自動で正員に変更されています.

\*3 **ユース会員が高校生ポスター発表以外で発表する場合は, 登壇費5,000円が必要.**

\*4 非会員の参加申込者には, 春期大会への参加の場合は当該年の3月から12月末まで, 秋期大会への参加の場合は当該年の9月から翌年6月末まで会員資格を付与する. ただし特典は重複して付与しません.

◆**参加証**

「講演大会 MyPage」で「参加証」を印刷し, 当日持参して会場に入して下さい(受付は不要です).

\*「参加証ケース」をお持ちの方はご持参下さい. ケースが必要な方には受付で配布します.

◆**講演概要の閲覧・ダウンロード**

公開場所: 講演大会ウェブサイト(ログイン必要)

公開日: 大会2週間前の**2026年9月9日(水)**(特許関係の手続きは, 公開日までに済ませて下さい.)

概要閲覧方法: 参加費決済を完了後, 「A-Pass」でログインいただくことで, 参加者限定ページをご覧いただけます.

◆**講演概要集の購入**

講演概要集は作成していません. 全ての講演概要は, 講演大会ポータルサイトで公開をします. これまで概要集のみを購入されていた場合は, 大会への参加登録をして, 講演大会ウェブサイトから概要を閲覧して下さい.

◆**相互聴講申込**

鉄鋼協会の講演大会に参加された方は, 相互聴講料金で本会の講演大会を聴講できます.

申込資格: 日本鉄鋼協会に参加登録された方. (会員資格問わず)

申込方法: 講演大会当日に鉄鋼協会講演会場の受付で参加証を受け取った後に, 金属学会相互聴講申込サイトで申込みおよび決済完了後, 決済済み画面と鉄鋼協会講演大会の参加証を日本金属学会受付に提示して下さい. 確認後, 参加証に「相互聴講」の押印をします.

(注)鉄鋼協会講演大会の相互聴講は, 金属学会の講演大会参加申込を完了した後, 鉄鋼協会の相互聴講申込サイトで相互聴講の申込みと決済を行って下さい. (詳細は鉄鋼協会へお問い合わせ下さい.)

◆**問合せ先**: 講演大会係 [annualm@jimm.jp](mailto:annualm@jimm.jp)

## ～講演申込～

### ◆申込期間(締切厳守！)

- 1) 一般, 公募シンポジウム, 共同セッション, ポスターセッション: **2026年5月27日(水)～7月7日(火)**  
\*講演申込の前に年会費納入および参加申込が必要です。
- 2) 高校生ポスター: **2026年5月27日(水)～7月14日(火)**

### ◆申込サイト

一般, 公募シンポジウム, 共同セッション, ポスターセッション:

<https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login> (A-pass 作成またはログイン後, 申込開始.)

高校生ポスター: <https://data.jimm.jp/jim/pos/>

### 講演を申込む前に下記を確認して下さい

- 非会員も大会参加費と登壇費を支払えば, 講演申込ができる(詳細は「講演申込要領」の「講演資格」参照.)
- 講演申込と同時に大会参加申込が必要. 参加申込後, 期日までに参加費と非会員(個人会員ではない方含む)は登壇費を納入する. 期日までに参加費を納入しない場合は講演を認めず, 欠講として取り扱う.
- 講演申込と講演概要提出は同時に行うこと.(同時に行わないと, 講演申込は受理されません)
- 原則, 講演申込者=講演発表者であること.
- 締め切りまでに「投稿完了」せず, 受理番号が発行されていない登録は未受理となる.

### これから入会して講演申込をする方へ(入会申請から参加・講演申込まで最大10営業日必要です. ご注意ください.)

入会期日以降の講演申込の為の新規入会は受付できません(入会承認が間に合いません)のでご注意ください. また, 年会費の納入を完了しないと参加申込や講演申込ができませんのでご注意ください.

<入会までの流れ>

- ① 入会申請(申請者)  
入会申込画面(<https://jimm.smoosy.atlas.jp/admission/agreement>)にて入会申請を行う。  
(参照: <https://atlas-team.notion.site/smoosy-apass-applicationhelp-howtoapplyformembership>)
- ② 入会申請を承ったメール配信(事務局→申請者)(2～5 営業日程度)
- ③ 会費支払いについての案内メール配信(事務局→申請者)(2～5 営業日程度)
- ④ 会費支払い(申請者)  
※注意: 年会費の支払いが遅れますと, 入会認証が遅くなりますので, お早めにお支払い下さい。
- ⑤ 入金確認および入会承認メール配信(事務局→申請者)(年会費納入確認後, 3 営業日程度)  
※ここで初めて入会完了となります。
- ⑥ 会員マイページから講演大会の参加登録, 講演申込を行う。  
※会費納入が完了しないと, 講演大会参加登録ができません。(参加登録をしないと, 講演申込ができません。)

### 入会申込期限: 2026年6月26日(金)(期日厳守! 以降は講演申込の為の新規入会受付対応できかねます。)

入会・会費の問合せ先: (公社)日本金属学会 会員サービス係 E-mail: [member@jimm.jp](mailto:member@jimm.jp)

### 既に会員の方

- ① A-Pass にて講演大会登録サイト(<https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login>)にログイン. マイページの講演大会「演題・参加登録サイト」のリンクから申込を行う。  
(会員マイページアクセス方法はこちらをご参照下さい. [https://jimm.jp/member/info\\_516.html](https://jimm.jp/member/info_516.html))
- ② まず参加登録を先に行う。(注意: 会費未納の場合, 参加申込できません。)
- ③ 参加登録完了後, 演題登録を行う. 講演申込み画面に必要事項を入力し, 講演概要の pdf をアップロードする。  
\*申込みの前に, 講演概要を作成しておいて下さい。  
(登録に関する参考サイト: <https://atlas-team.notion.site/33be2c48d9434dec7c0373777f15579>)
- ④ 内容を確認し, 必要があれば修正し, 講演を登録する。
- ⑤ 申込が完了すると, 受付完了通知がメールで届く。
- ⑥ 参加費および登壇料のお支払いは, でクレジットカード, 銀行振込が可能です。
- ⑦ 会員マイページの講演大会「演題・参加登録サイト」にて請求書や領収書, 参加証のダウンロード印刷が可能です。

## 非会員(個人会員ではない)として登録される方

- ① A-Passを作成する(お持ちの方はログインする)。URL: <https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login>  
非会員としてプロフィール登録などを行う。



(参照: <https://atlas-team.notion.site/A-Pass-Confit-1ca820a9dc77804994b6d72a4178fc82>)

- ② 以降は **既に会員**の方と同じ。

## 講演申込要領

- ◆講演概要: 演題登録画面から最新の MS-Word のテンプレートをダウンロードして作成すること。

分量は A4 縦 1 頁とする。

作成後にフォント埋め込みの pdf に変換して、アップロードする。

- ◆講演件数: 一人 2 件以内。ただしポスターのみ 2 件は不可。

(受賞講演, 基調講演, 招待講演等の特殊講演は上記の適用外)

同一研究室の 3 件以上の連続講演は不可。

- ◆講演時間: 一般講演: 講演10分, 討論 5 分

公募シンポジウム: 講演10~20分, 討論 5~10分

共同セッション: 講演15分, 討論 5 分

(講演時間は講演者自身が管理し, 厳守すること。)

### 1. 発表内容

原則として未発表で講演としてまとめたもの。

### 2. 講演資格

会員は年会費および参加費を, 非会員は参加費および登壇費を納入済であること。

### 3. 講演者変更・講演取消・無断欠講について

(1) 申込後の安易な講演者変更や取り消しは認めない。

(2) やむを得ない理由により講演を取り消す場合は, 必ず事前に事務局に連絡する。

連絡なく当日欠講(無断欠講)が判明した場合は, **WEB** プログラムを「No-Show 欠講」とし, 以後の講演申込を受付できない場合がある。

(3) やむを得ない理由により講演者を変更する場合は, 事前に事務局に連絡する。(当日, 変更になる場合は必ず座長の了解を得ること。)

(4) 変更可能な講演者は概要の共著者でかつ会員であること。

### 4. 連続講演

下記の条件を全て満たす場合のみ配慮するが, 希望に添えない場合があることを承諾すること。

(1) 同一のセッション名で講演申込されていること。

(2) 講演申込時に備考欄に連続希望する講演の順番, 発表者名, タイトル, (可能なら受理番号)を記入していること。

(3) 申込締め切後の申請でないこと。

(4) 同一研究室内で 3 件以上の連続講演でないこと。

### 5. 講演日の希望

講演申込時に備考欄に記入すること。

申込締め切後は受け付けない。

希望に添えない場合があることを承諾すること。

### 6. プログラム

プログラムは, 8 月初旬に2026年秋期講演大会ポータルサイトに掲載予定です。

## ポスターセッション

1. 発表方法：8月にホームページに掲載する最新の「ポスター発表資料作成要領」を参照のこと。
2. 優秀ポスター賞へのエントリー：講演申し込み時に「優秀ポスター賞にエントリーする」にチェックして下さい。
3. 優秀ポスター賞の授賞要件：①発表時点で30歳以下の学生および30歳以下の若手研究者。  
②過去にこの賞を授賞していない者。  
③代理発表者ではないこと。
4. ポスター賞の選考：①講演概要査読(1次審査)および当日発表審査(2次審査)で行う。  
②概要の要件および査読基準  
概要中に以下の項目が読者に分かるように明確に記載されていること。  
①研究の位置づけと目標、それらの重要性・新規性・独創性・発展性  
②研究目的  
③実験方法およびその妥当性  
④結果(および考察)の論理構成  
⑤結果(および考察)の新規性・発展性・重要性

\*発表を審査員が審査採点して優秀ポスターを選出し、「優秀ポスター賞」を贈呈します。

## ～ポスター発表予定の学生の皆様へ、学生ポスター発表プレ討論会に参加しませんか?～

**趣旨：**金属及びその関連材料分野の学術研究と関連産業の将来を担う学生が、自身の研究に関する理解を深めるとともに、金属関連分野における学生同士のネットワークを形成するきっかけとなることを期待して、本年度、学生ポスター発表プレ討論会を開催します。参加をご希望の方は、下記の URL より申し込み下さい。

<https://forms.gle/ja2iK5T9uWYPnQDm9>

**行 事 名** 「学生ポスター発表プレ討論会」

**開催場所** 秋田大学 詳細は参加者へ別途連絡(対面のみ)

**開催日時** 2026年9月22日(火・祝)15時30分～18時00分

**対 象 者** ポスター発表に申し込んだ学生(課程を問わない、社会人学生を含む。)

**参 加 費** 無料

**定 員** 30名程度(先着順)

**内 容** グループワーク(1名あたりポスターに関する発表7分および質疑応答8分)、フリーディスカッションなどを予定しています。

**持 参 物** ポスターセッションで使用するポスター内容を印刷したA4以上の大きさの紙5枚。(討論会終了後に各自回収していただきます。)

**注 意 点** 本プレ討論会への出席は優秀ポスター賞の評価には一切影響しません。

**学生ポスター発表プレ討論会修了証書** 本討論会にご参加の方には「学生ポスター発表プレ討論会修了証書」をお渡しいたします。

**問合せ・連絡先** (公社)日本金属学会 学生ポスター発表プレ討論会係

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

☎ 022-223-3685 ☎ 022-223-6312 E-mail: annualm@jimm.jp

～ご参加をお待ちしております。～

## 公募シンポジウム

2026年秋期講演大会では下記の公募シンポジウムを実施いたします。テーマ要旨を参照の上、申し込み下さい。  
また、今大会より「公募シンポジウム優秀口頭発表賞」を新設・実施いたします。下記の要領を参照し、ご応募下さい。

### 1. 口頭発表賞選考対象テーマ：代表責任者が優秀口頭発表賞実施を承諾したテーマ(下記一覧参照)

公募シンポジウムテーマ	口頭発表賞の実施有無
S1 界面ナノ構造と機能の材料科学Ⅱ	有
S2 最先端蓄電デバイスの材料科学	無
S3 極限環境対応構造材料のためのマテリアル DX(Ⅳ)	有
S4 ハイエントロピー合金の材料科学(Ⅷ)	有
S5 材料変形素過程のマルチスケール解析(Ⅸ)	有
S6 Additive Manufacturing の材料科学Ⅹ	有
S7 特異反応場における時間/空間応答を利用した新奇材料構造創成Ⅹ	有

- 口頭発表賞へのエントリー：講演申し込み時に「公募シンポジウム優秀口頭発表賞にエントリーする」にチェックする
- 口頭発表賞の授賞要件：①発表時点で30歳以下の学生 ②過去にこの賞を授賞していない者 ③代理発表者ではないこと  
④一テーマ5件以上のエントリーがあった場合のみ選考対象とする
- 賞の選考：当日発表による審査で、①論理構成の的確さ、②発表の分かり易さ、③質疑応答の適切さを評価し、総合評価する。
- 授賞発表：講演大会終了後、1週間～10日程度で授賞者へ通知予定。後日、賞状を郵送する。

## 日本鉄鋼協会との共同セッション

日本金属学会と日本鉄鋼協会は下記の共同セッションを実施する。

日本金属学会、日本鉄鋼協会のいずれかの講演大会に参加申込をした方は聴講可能。

①「チタン・チタン合金」(2026年秋の会場は日本金属学会会場)

②「マルテンサイト・ベイナイト変態の材料科学と応用」(2026年秋の会場は日本金属学会会場)

尚、共同セッションに講演申込をされる方は、鉄鋼協会の概要集「材料とプロセス」の他、鉄鋼協会の大会ポータルサイトでの講演概要公開に同意して下さい。

## 講演概要原稿作成・投稿方法

- 演題登録サイトから最新のテンプレート(MS-Word)をダウンロードして下さい。
- ダウンロードしたテンプレートを用いて講演概要を作成して下さい。
- 講演の題名、著者・所属、本文のすべてを記入した完成版の講演概要ファイルをPDFに変換して下さい。
- 講演申込と同時にPDFファイルをアップロードして、講演概要を提出して下さい。(※同時に行わない場合は、講演申込は受理されません)
- 使用言語：日本語または英語
- 原稿サイズ：A4 判縦 1 頁
- 原稿作成時の注意事項：
  - MS-Word のファイルを PDF に変換する際は、フォント埋め込みを必ず行うこと。
  - 発表者氏名の前に必ず○印を付けること(申込画面上で講演者にチェックを入れる)。
  - アップロードの前に文字、図表等の品質を確認してから、アップロードすること。
- 提出原稿の修正：講演申込期間内のみ差し替えが可能。原則として提出期限後の原稿の差替えは認めない。

## 講演概要の要件と査読

講演大会に投稿された全ての講演概要は、下記の査読基準に基づき、その分野の専門家が査読し、採否を判定する。査読の結果、「掲載不相当」と判定された場合は、理由を示して著者に返却します。

### (講演概要の要件および査読基準)

- 概要のテンプレートに基づいた概要であること。
- 講演内容を的確に表す題目であること。好ましくない題目例：○○に関する研究、○○○○について
- 未発表であること。
- 金属およびその関連材料の学術および科学技術の発展に寄与するものであること。
- 内容に誤りがないこと。
- 研究不正行為または不適切行為に該当する内容を含まないこと。
- 宣伝や営利目的、軍事目的の内容を含まないこと。
- 誹謗中傷に類する内容を含まないこと。

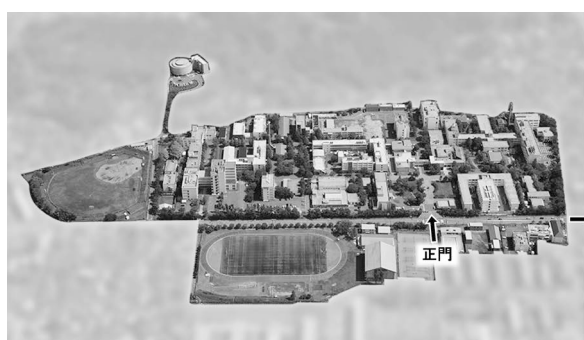
## 2026年秋期(第179回)講演大会 会場周辺のご案内

2026年秋期講演大会 実行委員長 齋藤嘉一

今年の秋期(第179回)講演大会は、シルバーウィーク(大型5連休)の最終日にあたる9月23日(水;祝)から25日(金)までの3日間にわたり、日本鉄鋼協会と合同で秋田大学手形キャンパスにて開催されます。秋田大学での開催は2004年秋期大会以来、実に22年ぶりとなります。秋田大学は5学部、4研究所および1工学院からなる総合大学で、手形地区、本道地区、保戸野地区の3つに分かれたキャンパスにおいて教育と研究が行われています。講演会場となる手形キャンパスには、全学部学生が入学時からともに学ぶ共通教育を実施する一般教育棟をはじめ、総合環境理工学部(2025年4月開設)、国際資源学部、教育文化学部、情報データ科学部(2025年4月開設)の建物があり、講演会場としてはキャンパス内のほぼ全ての施設を利用して行う予定です。

手形キャンパスへのアクセスとしては、まず起点となるJR秋田駅までお越しください。秋田入りする際、陸路の場合はJR秋田新幹線もしくは電車を、空路の場合は(秋田空港より)リムジンバスを御利用いただくことになります。手形キャンパスは秋田駅東口から北に向かって徒歩20分(約1.5km)の場所にあります。この間で利用できる公共交通機関として路線バス(秋田中央交通)とタクシーがありますが、特に路線バスは運行本数が少なく、あまり便利とはいえません。そこで今回、参加者の移動の便を図るため、特に朝夕の混雑時間帯に秋田駅東口と手形キャンパスを結ぶ無料送迎バスを手配しますので、これをご活用ください。懇親会は、大会初日の23日夕刻に秋田キャッスルホテルにて催されます。同ホテルは秋田駅西口から西に向かって徒歩7分、手形キャンパスから徒歩25分の距離にあります。懇親会場への移動の際も、手形キャンパスからホテルまで無料送迎バスを手配しておりますので、ぜひご利用ください。懇親会では、秋田ならではの郷土料理と自慢の地酒が振舞われるほか、余興としてなまはげ太鼓をお楽しみいただけます。

前述しましたように、今回の講演大会は5連休最終日からのスタートとなり、当該期間中は一般観光客による混雑も予想されますので、交通チケットや宿泊ホテルの予約は早めに取りられることをお勧めいたします。9月下旬の秋田は暑さが和らぎ、大分涼ぎやすくなっているはずですが(最高気温平均~27℃、最低気温平均~17℃)。その頃、県内各地で黄金色の田んぼを見ることができ、頭を垂れた稲穂が風にそよぎ、一面に広がる様はとて美しく、都会では味わえない癒しを感じられようと思います。お米をはじめ、りんごやぶどう、梨などの果物も収穫の時期を迎え、お酒も含めて美味しいものがいっぱい季節です。ぜひこの機会を利用して、秋の秋田の風物もお楽しみください。



手形キャンパスの全景.



手形キャンパスを正門から臨む.

～ 皆さまのご参加をお待ちしております。～

## 2026年秋期講演大会 日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会開催・参加募集のご案内

2026年秋期講演大会における懇親会を日本鉄鋼協会と合同で下記の通り開催いたします。ご参加を希望される方は、期日までに下記要領にてお申し込み下さい。

**開催日時** 2026年9月23日(水・祝)18:30-20:30

**開催場所** 秋田キャッスルホテル 4F「放光の間」  
(〒010-0001 秋田市中通 1-3-5 ☎ 018-834-1141)

**参加費** 予約申込 一般10,000円 同伴者(配偶者同伴の場合) 5,000円  
当日申込 一般12,000円 同伴者(配偶者同伴の場合) 5,000円

**予約申込期間** 2026年5月27日(水)～8月31日(月)

**申込方法** ※講演大会参加申込とは別になります。

(1) 講演大会に参加申込される方・された方：以下の流れでお申し込み下さい。

- ①<https://jimm.smoozy.atlas.jp/mypage/login> にログイン
- ②会員・非会員マイページの講演大会「参加・演題登録サイト」ボタンをクリック
- ③初めて大会参加申込する方：大会マイページの参加申込にある「参加申込」  
すでに参加登録済みの方：「追加購入」ボタンをクリック
- ④懇親会参加申込を選択して「この内容で登録」で申込完了→支払いへ進む

(2) 懇親会のみにご参加される方(講演大会には参加しない方)

E-mail: [annualm@jimm.jp](mailto:annualm@jimm.jp) へお問い合わせ下さい。

### 支払方法

予約申込：上記申込サイトで登録後、大会マイページでオンライン決済をして下さい。銀行振込も可能です。(ただし、2026年8月31日着金とする)

領収書は決済後、大会マイページでダウンロードができます。

当日申込：現金のみでのお支払いとなります。

※お支払後の取消は、準備の都合上ご返金いたしかねますのでご了承下さい。

### 当日の参加について

〈予約申し込みの方〉

開催当日に懇親会会場の金属学会受付にお越し下さい。懇親会予約申込者の講演大会参加証には「懇親会参加」と表示されますので、講演大会参加証を着用しご来場下さい。当日会場にて参加者名簿をお渡しいたします。懇親会参加のみの方(講演大会に参加しない方)の参加証は、当日会場にてご用意しております。

〈当日申込の方〉

開催当日に懇親会会場の当日受付にてお申込みとお支払いをして下さい。現金のみのお支払いとなります。参加証と参加者名簿をお渡しいたします。

**問合せ先** 〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

(公社)日本金属学会 講演大会係

☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312 E-mail: [annualm@jimm.jp](mailto:annualm@jimm.jp)

**2026年秋期講演大会**  
**大会ホームページ・バナー広告, 大会プログラム広告(まてりあ9号付録),**  
**付設展示会, 誌上展示会(まてりあ11号)各募集要領**

本会2026年秋期講演大会は、9月23日(水・祝)～25(金)の3日間、秋田大学・手形キャンパスにて開催いたします。本講演大会にて、各種広告、付設展示会の出展を募集いたします。

■大会ホームページ・バナー広告

掲載期間 2026年7月～(会期終了後もアーカイブで閲覧できます)

アクセス数 約260,000アクセス(約2ヶ月, 前回参考値)

サイズ タテ100ピクセル×ヨコ250ピクセル(静止画)

データ形式 静止画のPNG(.png), JPEG(.jpg), GIF(.gif)  
 リンク先アドレスも合わせてご指定下さい。  
 バナーデータ(+リンク先指定)入稿後, 1週間程度で掲載させていただきます。

掲載料金 1枠50,000円(税別)  
 ※バナーデータ制作費は別途です。  
 ※本会維持員様, プログラム広告掲載会社様, 付設展示会出展社様は50%OFF。

申込 随時受付いたします。

申込最終締切 8月20日(木)

■講演大会プログラム広告(冊子)

発行予定日 9月1日(火) まてりあ9号付録

原稿サイズ A4 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm

入稿形態 完全データ(グレースケール)

掲載料金 後付モノクロ1頁 ¥70,000(税別)  
 後付モノクロ1/2頁 ¥40,000(税別)  
 ※広告データ制作費は別途です。  
 ※付設展示会出展社様は50%OFF。

申込締切 7月31日(金)

広告データ締切 8月5日(水)

■付設展示会

展示会会期 9月23日(水・祝)～25日(金)9:00～17:00

※23日は, 13:00まで(予定)  
 搬入日: 9月22日(火)  
 14:00～16:00(予定)

展示会場 秋田大学・手形キャンパス

〈機器・書籍展示〉

研究開発用機器, 書籍, ソフトウェア等の出展を募集いたします。

1コマ 間口1,800mm, 奥行き900mm(予定)  
 展示台(テーブル), バックパネル(高さ2100mm×幅1800mm), 椅子をご用意します。  
 ※電気使用容量を制限する場合がございます。  
 (例: 1コマ100Wまで)  
 ※テーブルクロス, ライトの準備はごさいませ

ん。

出展料金 機器展示: 1コマ 140,000円(税別)  
 書籍展示: 1コマ 90,000円(税別)  
 出版社様限定

申込締切 8月20日(木)  
 ※規定数に達し次第, 先着順に締切ります。

〈カタログ展示〉

展示部数 2点(A4サイズ, 8頁以内)につき, 30部以内

出展料金 2点につき30,000円(税別)(1点増すごとに10,000円(税別)追加)

申込締切 8月20日(木)

■まてりあ11号・誌上展示会

付設展示会のフォローアップ広告を募集いたします。

発行予定日 11月1日(日)

掲載料金 1枠(1/4頁) ¥28,000(税別)

申込締切 9月30日(水)

広告原稿締切 9月30日(水)

※本広告企画は, 付設展示会に出展されていない企業様も出稿できます。

上記の他, ランチョンセミナー, 学生キャリアサポート企画等の協賛メニューは, 企画でき次第ご案内いたします。  
 下記までお問い合わせ下さい。

■申込・問合先

〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4  
 友野本社ビル7F  
 株式会社 明報社  
 (担当: 月岡太郎 または, 営業担当者まで)  
 ☎ 03-3546-1337 FAX 03-3546-6306  
 E-mail: tsukioka@meihosha.co.jp  
 (または営業担当のアドレスまで)  
 URL: <http://www.meihosha.co.jp>

## 2026年秋期講演大会会期中の託児室設置のお知らせ

2026年秋期講演大会期間中、日本金属学会と日本鉄鋼協会が共同で託児室を開設いたします。利用ご希望の方はホームページ掲載の託児室利用規約をご確認の上「託児室利用申込フォーム」にご入力頂き、下記シッター会社へ直接お申し込み下さい。

設置期間および利用時間(開始、終了時間は予定です)

設置期間	利用時間
2026年9月23日(水・祝)	8:30~17:30
9月24日(木)	8:30~18:00
9月25日(金)	8:30~17:00

場所 秋田大学キャンパス内(申込者へ直接ご連絡します)

対象・利用料金 0歳1か月~小学6年生 無料です

利用シッター会社 NPO法人「ここはぐ」

申込方法

- 日本金属学会・日本鉄鋼協会ホームページ託児室案内の託児室利用規程をご確認の上、申込専用サイト(準備でき次第公開)に必要事項を入力の上お申し込み下さい。
- シッター会社からの返信をもって受付完了となります。

※申込受領後3営業日以内に、NPO法人「ここはぐ」より返信メールをお送りします。

申込期間 **2026年8月1日(土)~9月16日(水)まで**

(定員に達し次第締め切らせて頂きます)

申込・問合せ先 NPO法人「ここはぐ」

担当)小田嶋麻貴子

☎ 070-1148-5589

E-mail: kokohug.akita@gmail.com

\*託児室利用規程はホームページにご覧いただけます。

## 講演大会アーカイブサイト

### ログイン仕様変更のお知らせ

~2019年秋期講演大会から2024年秋期講演大会までの講演概要閲覧について~

本会の講演概要は、2019年秋期講演大会から大会ポータルサイトからのダウンロード形式となり、過去の講演概要は、アーカイブサイトから当該講演大会の参加登録で割り当てられた認証コードにより、閲覧して頂いておりましたが、本年6月から新しいアーカイブサイトとなり、1年経過後の講演大会概要閲覧は、会員の方はA-Pass認証でログインした会員マイページから過去の講演概要を閲覧可能となります。また、過去に参加登録をされた非会員参加者は、一度事務局へ問い合わせた後、参加登録して頂いた当該講演サイトへのログインに必要な新しい個別認証コードを配布することになりました。アーカイブサイトが新しくなることで、講演大会を横断して講演を検索できるようになるほか、今年度中に各講演概要にDOIが付与できる予定です。

ご不便ご面倒をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

## 第24回 World Materials Day Award 募集

応募期間：2026年6月1日(月)~7月7日(火)

募集要項

応募資格者

発表者および来場する共同研究者は秋期講演大会に参加登録していること。

日本在住の学部学生、修士課程大学院生(グループも可)、高校生・高専学生も可。

日本金属学会の会員でなくても応募できるが授賞決定後には会員になることが望ましい。

展示方法

日本金属学会秋期講演大会会場(2026年9月23日~25日、秋田大学)において、応募作品を展示する。

- 展示場への作品の搬入および搬出は応募者が行う。
- 展示パネルと電源は準備しますがそれ以外の備品などは応募者各自が準備すること。

審査方法

- 秋期講演大会会期2日目に展示場で審査する。
- 審査の観点：材料啓発活動への寄与度、内容の新鮮さ、表現力、意欲などの個別項目を5点法で採点し総合点で審査する。

申し込み

上記の応募期間に下記アドレス宛にお申込下さい。

(応募様式はホームページからダウンロード下さい)

申込・問合せ先 (公社)日本金属学会 World Materials Day 募集係

☎ 022-223-3685 ☎ 022-223-6312

E-mail: stevent@jimm.jp

詳細 までりあ65巻6号434頁 or ホームページをご覧ください。

**公益社団法人日本金属学会**  
**「2027年度若手研究グループ」新規申請募集**

申請締切：2026年9月2日(水)

若手および調査・研究事業を活性化することを狙いとして、若手主体の研究グループを2018年度より設置しております。若手研究グループの登録申請を希望される方は下記を参照の上、若手研究グループ申請用紙でお申込下さい。(申請用紙はホームページよりダウンロードして下さい)

**【実施要領】**

**(1) 概要**

- 新たな研究会の設立、新規研究テーマの開拓やフロンティア助成研究の申請に向けた研究課題の抽出や研究目標の明確化のための調査の実施や構成員による討論会や会議の開催等を行なう。
- 本研究グループの活動を、日本金属学会フロンティア研究助成申請時の審査の参考情報とする。
- 目的・目標・活動計画を明確にし、機関誌等での活動報告を義務化した上で、活動費を支給する。

**(2) 対象者**

- 申請者および構成員は申請時(9月2日時点)に40才以下の研究者であること。申請代表者は正会員であること。
- 申請時には、構成員は5名以上であり、非会員を構成員とすることができるが、過半数は正会員であること。
- 構成員に最低1名は産業界のメンバーが入っていること。(適当なメンバーがない場合は、申請時に企業メンバーの推薦を該当分科の調査研究委員会委員等に依頼すること。)
- 活動開始時には、非会員の構成員は会員になること。

**(3) 活動費** 年間50万円を上限とする。(税金分を含む)

**(4) 活動期間** 2027年3月1日～2029年2月28日の2年間とし、原則として延長は認めない。

**(5) 活動報告**

- 研究成果報告として、講演大会において講演(若手研究グループの企画セッション等が望ましい)を行う。
- 1年経過後および活動終了後に報告書A4版1枚(2,200字程度)を調査研究委員会に提出する(必要な場合は説明いただく)。提出された報告書は、本会ホームページおよび会報「まてりあ」に掲載する。

**(6) 採択件数** ・5件以内とする。

**(7) 応募方法**

- 名称、申請代表者、構成員、申請理由、活動の概要、活動計画、予算、成果の報告予定、関連分野を記載した申請書を下記申込専用サイトに必要事項を入力の上、アップロードし提出する。なお、ファイルはMS-Word形式として下さい。

申込専用サイト：<https://data.jim.or.jp/jim/wakate/tou/>

**(8) 審査**

- 調査研究委員会での審査の後、理事会で決定する。必要に応じ、面談等を行うことがある。

**(9) 備考**

- その他は研究会の規程に準ずる。
- 活動費の使途は、会議費(会場費、会議中のお茶代・弁当代)、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費等の運営費用および分析や調査等の外注委託費とする。本会規程に基づく旅費・交通費の支給は可とする。ただし、講演大会中および講演大会と連続する日程で開催される構成員の会議等の旅費は不可。
- 会計担当者を置き、年度予算の消化状況の管理を行なう。
- 会計担当は、活動費の残金および参加等収入等の現金ならびに領収書を管理する。
- 会計処理方法の詳細は会計マニュアルに定める。

**(10) 審査基準**

- 研究会への発展や新規研究テーマの開拓に貢献できるか。
- 研究会に類似のテーマはないか。
- 構成員は適切であるか。
- 必要性が高いか。
- 目的や目標が明確にされているか。
- 成果を広く周知する活動報告が計画されているか。

2026年度活動中の若手研究グループ(1グループ)

No.	名 称	活動期限	代表世話人
10	構造材料とデータ科学の融合研究グループ	2025年3月～2027年2月	山形 遼介(千葉大)
11	高融点金属材料の溶解・凝固プロセスに関する研究グループ	2026年3月～2029年2月	鳴海 大翔(東大)

これまで活動した若手研究グループ

No.	名 称	活動期限	代表世話人
1	鉄鋼メタラジー研究グループ	2018年3月1日～2020年2月28日	中田 伸生(東工大)
2	Additive Manufacturing(付加製造)による超高耐食性金属材料の開発研究グループ	2018年3月1日～2020年2月28日	堤 祐介(物・材機構)
3	多様な先端観察・測定法を用いた組織の定量と力学特性解析への適用	2018年3月1日～2020年2月28日	宮嶋 陽司(金沢大)
4	量子ビーム散乱測定による金属組織形成過程のマルチスケール解析研究グループ	2018年3月1日～2020年2月28日	諸岡 聡(日本原子力研究開発機構)
5	次世代高性能磁性材料研究グループ	2019年3月1日～2022年2月28日 ※新型コロナの影響で1年延期対応。	松浦 昌志(東北大学)
6	生体用金属・セラミックス材料の生体外評価に関する標準化検討グループ	2019年3月1日～2022年2月28日 ※新型コロナの影響で1年延期対応。	上田 恭介(東北大学)
7	CO <sub>2</sub> ゼロエミッション社会に向けた耐環境構造金属材料研究グループ	2022年3月1日～2024年2月29日	井田駿太郎(東北大学)
8	原子力エネルギー用材料研究グループ	2023年3月～2025年2月	岡 弘(北大)
9	非鉄金属材料の水素侵入・水素脆化研究グループ	2023年3月～2025年2月	土井康太郎(NIMS)

問合せ・照会先 日本金属学会 若手研究グループ係

E-mail: [stevent@jim.or.jp](mailto:stevent@jim.or.jp)

☎ 022-223-3685

公益社団法人日本金属学会  
「研究会」新規・更新申請募集

申請締切：2026年9月2日(水)

研究会の登録を希望される方は研究会実施要領および下記規則をご参照の上、お申込下さい。

新規申請の研究会は新規申請用紙、継続延長申請の研究会は継続更新申請用紙でお申込下さい。(申請用紙はホームページよりダウンロードして下さい)

【実施要領】

**研究会の目的** 研究会は先端領域又は学術領域における研究会を効率的に推進するために活動することを目的とする。

- (1) **年間運営費** 150,000円
- (2) **活動期間** 新規申請の場合1期5年間以内、継続更新の場合、延長期間1期3年以内。  
最長活動期間は2期8年以内
- (3) **新規申請書の内容** ①研究会名称、②活動目的、③活動期間、④代表世話人、⑤世話人(複数可)、⑥構成員名簿
- (4) **継続更新申請書の内容**  
①研究会名称、②継続理由、③延長期間、④代表世話人、⑤世話人、⑥構成員、⑦これまでの成果報告、⑧今後の活動計画書
- (5) **年間採択数** 新規2件以内、継続(延長)申請は2件以内
- (6) **研究会の審査** 調査研究推進委員会で1次審査をし、理事会で最終審査を行う。
- (7) **審査基準**
  - ・十分な学術貢献が期待できるか。
  - ・既存の研究会と類似していないか。
  - ・構成員は適切か。
  - ・そのテーマの研究会が必要か。
  - ・研究会活動期間中に講演大会公募シンポジウムや金属学会シンポジウムを計画しているか。
- (8) **現在活動中の研究会の留意事項**
  - ・2027年2月に終了する研究会で、過去に継続(延長)の申請をしている研究会は、現在の活動期間で終了となります。
  - ・2027年2月に終了する研究会で、これまで継続(延長)の申請をしていない研究会は、1期3年の継続(延長)の申請が出来ます。ただし、研究会の審査により2件以内の採択となります。
- (9) **申込方法** 作成した申請書を下記申込専用サイトに必要事項を入力の上、アップロードし提出して下さい。なお、ファイルはMS-Word形式として下さい。

申込専用サイト：

<https://data.jim.or.jp/jim/kenkyukai/tou/>

- (10) **問合せ・照会先** (公社)日本金属学会 研究会係  
E-mail: stevent@jim.jp  
☎ 022-223-3685

公益社団法人日本金属学会 研究会規則

(規則の目的)

第1条 この法人の研究会規程を公正かつ適切に運用するため、調査研究委員会の決議により、この規則を定める。

(運営費)

第2条 研究会規程第14条第1項によるこの法人の運営費の限度額は150,000円とする。

- 2 この法人の運営費以外の運営は参加費等収入で充当する。
- 3 企業からは原則として分担金を徴収しない。
- 4 前項に定める同系統のテーマで継続的活動を目的とする更新申請の承認にあたっては、会告や会場の手配などの支援はするが活動支援金を提供しない場合もある。

(研究会の申請)

第3条 研究会の新規申請書ならびに継続更新申請書は9月上旬までに調査研究委員会に申請するものとする。

- 2 調査研究推進委員会は申請書を審査の上、調査研究委員会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。
- 3 研究会の年間採択数は原則新規2件程度、継続更新は2件程度とする。
- 4 新規に採択された研究会は3年経過後に継続する目処がたたなくなった場合は研究会を解散することが出来る。
- 5 研究会は活動期間中に、1回以上春秋公募シンポジウムを開催しなければならない。

(研究会の新規申請)

第4条 新規申請は代表世話人が所定の研究会申請書を期日までに調査研究委員会委員長に提出する。

- 2 新規応募の申請書に記載する事項は次の通りとする。
  - (1) 研究会の名称および活動目的
  - (2) 代表世話人(氏名、所属、役職名、TEL、E-mail)
  - (3) 世話人の名簿
  - (4) 構成員の名簿
  - (5) 活動期間は1期5ヵ年以内とする

(更新申請)

第5条 1期5年終了後、さらに活動を継続する場合、代表世話人は更新申請書を期日までに調査研究委員会に提出する。

- 2 更新申請に記載する事項は次の通りとする。
  - (1) 研究会の名称および継続理由
  - (2) 代表世話人(氏名、所属、役職名、TEL、E-mail)
  - (3) 世話人の名簿
  - (4) 構成員の名簿
  - (5) これまでの成果報告書
  - (6) 今後の活動計画書
  - (7) 延長期間1期3ヵ年以内とする
  - (8) 最長活動期間は2期8ヵ年以内とする

(研究会の構成員)

第6条 この法人の会員は当該代表世話人に申し込むことで、その研究会の定常的構成員になることができる。

- 2 代表世話人は新たに参加した構成員を事務局に通知する。
- 3 研究会の定常的構成員は少なくともその2/3以上を

この法人の会員で構成されなければならない。

- 4 同一人が複数の研究会に登録しても差し支えないものとする。

**(研究会の審査)**

第7条 研究会の新規および継続更新の審査は、下記による。

- 2 調査研究推進委員会で1次審査をし、理事会で最終審査を行う。
- 3 研究会の審査は次の基準による。
  - (1) 十分な学術貢献が期待出来るか
  - (2) 既存の研究会と類似していないか
  - (3) 構成員は適切か
  - (4) そのテーマの研究会が必要か
  - (5) 本会の講演大会公募シンポジウムや金属学会シンポジウムを開催出来るか

**(研究集会の開催)**

第8条 研究集会を催す場合は、下記による。

- 2 研究集会は、会告により会員に公開する。ただし、緊急の会合の場合は前項の定常的構成員のみに通知することもあり得る。
- 3 春秋大会会期中の研究集会は、原則として開催は認めない。

**(研究会の運営)**

第9条 研究会の運営に関する事務処理は代表世話人のもとで行う。

- 2 研究会が内外の学協会と共催または協賛のもとにシンポジウムまたは国際会議等を開催しようとする場合は、研究会の代表世話人が所定の手続きを経て理事会に申請するものとし、その可否は理事会の決議を要する。

**(研究会の活動および成果報告)**

第10条 研究会の活動および成果報告は、下記による。

- 2 活動期間中の研究会の代表世話人は2月中旬までに、その年度の活動報告書を調査研究委員会に提出しなければならない。また、2月中旬までにその年度の経費の使用明細書(領収書添付)を事務局に提出しなければならない。
- 3 研究会を終了する代表世話人は2月中旬までに成果報告(A4版1頁:講演大会やシンポジウム開催報告)を調査研究委員会に提出し、金属学会ホームページに公表しなければならない。
- 4 最終成果報告書は欧文誌、会誌の投稿または、まてりあ特集号に掲載しなければならない。

**(委員会の関与)**

第11条 この規則に疑義が生じた場合は、調査研究推進委員会で協議する。

**(規則の改廃)**

第12条 この規則を改廃する場合は、調査研究委員会の決議を要する。

2026年度活動中の研究会

8 テーマ研究会			
No.	名 称	活動期限	代表世話人
1	86 結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会	2022年3月～2027年2月	長谷川 誠(横 浜 国 大)
2	87 水素が関わる材料科学の課題共有研究会	2022年3月～2027年2月	浅野 耕太(産 総 研)
3	88 高温構造用材料の水蒸気酸化に関する基礎科学研究会	2022年3月～2027年2月	上田 光敏(北 大)
4	89 コンプレキシティ・トランス研究会	2025年3月～2030年2月	廣澤 渉一(横 浜 国 大)
5	90 転位と力学特性に関するマルチスケール解析研究会	2025年3月～2030年2月	田中 将己(九 大)
6	91 格子欠陥基礎機能研究会	2025年3月～2030年2月	中村 篤智(阪 大)
7	92 アモルファス合金・金属ガラスに関する研究会	2025年3月～2030年2月	加藤 秀実(東 北 大)
8	93 高温材料の強度と組織設計研究会	2026年3月～2031年2月	鈴木真由美(富山県立大)

これまで設置された研究会

1. 高融点金属基礎研究会	(1977.2～1982.3)
2. 高温質量分析研究会	(1977.9～1982.3)
3. アモルファス金属に関する研究会	(1977.9～1982.3)
4. チタン研究会	(1977.9～1982.3)
5. マルテンサイト変態に関する研究会	(1978.2～1983.3)
6. 核融合炉研究会—総合評価のための—	(1978.5～1983.3)
7. 材料照射研究会	(1978.5～1983.3)
8. 磁石材料研究会	(1978.5～1983.3)
9. 結晶粒界研究会	(1981.2～1986.3)
10. 高温変形および破壊研究会	(1981.9～1986.3)
11. 金属間化合物の機械的性質研究会	(1983.2～1988.3)
12. 材料重照射研究会	(1984.2～1989.3)
13. ステンレス鋼研究会	(1984.2～1989.3)
14. 形状記憶合金の基礎と応用に関する研究会	(1985.2～1990.3)
15. エレクトロニクス材料の物理化学研究会	(1985.2～1990.3)
16. 気相急冷非平衡合金研究会	(1985.2～1990.3)
17. 計算機支援による材料設計研究会	(1986.2～1991.3)
18. 金属とセラミックスの接合研究会	(1986.2～1991.3)
19. 高温強化研究会	(1987.3～1992.2)
20. 高純度金属研究会	(1988.3～1991.2)
21. 破壊の物理と化学研究会	(1988.3～1991.2)
22. ベイナイト研究会	(1988.3～1991.2)
23. 結晶粒界研究会	(1991.3～1994.2)
24. 水素機能研究会	(1991.3～1994.2)
25. 照射材料評価研究会	(1992.3～1995.2)
26. 金属と社会研究会	(1992.3～1997.2)
27. めっき膜の構造および物制御研究会	(1993.3～1998.2)
28. 高純度ベースメタル研究会	(1993.3～1998.2)
29. 集合組織と材料特性研究会	(1994.3～1999.2)
30. 相安定性・相変態研究の新技法研究会	(1994.3～1999.2)
31. 金属系バイオマテリアル研究会	(1994.3～1998.2)
32. 結晶性材料の高温強度特性研究会	(1995.3～2000.2)
33. チタン合金の基礎物性研究会	(1995.3～2000.2)
34. コンピューターシミュレーションによる原子・電子レベルでの材料創成研究会	(1995.3～2000.2)
35. 界面の原子論研究会	(1996.3～1999.2)
36. ハイパフォーマンス・バイオマテリアル研究会	(1998.3～2001.2)
37. 拡散研究会	(1998.3～2003.2)
38. 超高純度金属研究会	(1998.3～2003.2)

39. 材料集合組織研究会	(1999.3~2002.2)
40. 高温材料設計研究会	(2003.3~2005.2)
41. ストラクチャーダイナミクス研究会	(2000.3~2003.2)
42. 機能性薄膜研究会	(2000.3~2003.2)
43. 可逆的インターコネクション研究会	(2001.3~2004.2)
44. ナノプレーティング研究会	(2002.3~2005.2)
45. 水素新機能研究会	(2002.3~2005.2)
46. エキゾチック金属間化合物の構造・相安定性と物性研究会	(2003.4~2005.2)
47. 強ひずみ加工微細組織制御研究会	(2004.3~2008.2)
48. 照射場材料制御研究会	(2004.3~2009.2)
49. 次世代軽負荷マグネシウム研究会	(2004.3~2009.2)
50. 超高純度ベースメタル研究会	(2004.3~2007.2)
51. 先進材料の高温強度と組織研究会	(2005.3~2009.2)
52. ベリリウム金属間化合物研究会	(2005.3~2008.2)
53. 金属系シナジー化合物の履歴電子制御による高機能化研究会	(2006.3~2011.2)
54. ナノプレーティング研究会	(2006.3~2013.3)
56. 結晶方位と組織の制御研究科	(2006.3~2011.2)
57. 変位型相変態を利用した構造・機能性材料研究会	(2007.3~2012.2)
58. 機能性ポーラス材料研究会	(2008.3~2013.3)
59. 機能性チタン合金研究会	(2008.3~2013.3)
60. 格子欠陥制御工学研究会	(2008.3~2013.3)
61. 核融合システム・材料統合研究会	(2009.3~2012.2)
62. 励起反応場を用いた低次元ナノ材料創成研究会	(2009.3~2015.2)
63. 計算材料科学研究会	(2009.3~2012.2)
64. 触媒材料研究会	(2009.3~2015.2)
65. 高温強度と組織形成の材料科学研究会	(2010.3~2015.2)
66. 熱電変換材料研究会	(2011.3~2014.2)
67. 結晶と組織の配向制御による材料高性能化研究会	(2011.3~2017.2)
68. シンクロ型 LPSO 構造研究会	(2011.3~2014.2)
69. エレクトロニクス薄膜材料研究会	(2013.3~2018.2)

70. プラστοンに基づく変形現象研究会	(2013.3~2022.2)
71. グリーンエネルギー材料のマルチスケール創製研究会	(2013.3~2018.2)
72. 水素化物に関わる次世代学術・応用展開研究会	(2014.3~2023.2)
73. 水素誘起超多量空孔研究会	(2014.3~2019.2)
74. チタン製造プロセスと材料機能研究会	(2014.3~2019.2)
75. キンク研究会	(2015.3~2024.2)
76. 高温変形の組織ダイナミクス研究会	(2015.3~2020.2)
77. 高度超塑性成形研究会	(2016.3~2022.2)
78. 触媒材料の金属学研究会	(2017.3~2023.2)
79. 金属・無機・有機材料の結晶方位解析と応用技術研究会	(2017.3~2022.2)
80. 高エネルギー環境用材料評価研究会	(2018.3~2024.2)
81. 材料機能特性のアーキテクチャー研究会	(2018.3~2025.2)
82. 微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング研究会	(2019.3~2025.2)
83. 高温材料の変形と破壊研究会	(2020.3~2026.2)
84. ソフト磁性研究会	(2020.3~2026.2)
85. 状態図・計算熱力学研究会	(2021.3~2026.2)

## 日本金属学会各種研究費申請比較表

◎応募検討の際、ご参照下さい。

	研究会	若手研究グループ	フロンティア研究助成
目的	先端領域又は学術領域における研究会を効率的に推進するために活動することを目的とする	若手および調査・研究事業を活性化することを目的とする。新たな研究会の設立、新規研究テーマの開拓やフロンティア助成研究の申請に向けた研究課題の抽出や研究目標の明確化のための調査の実施や構成員による討論会や会議の開催等を行なう。	教育・研究機関での金属及びその関連材料分野の学術研究及び技術研究の発展や若手研究者の育成や奨励を主な目的として、金属及びその関連材料分野に関連する材料又はプロセスに関する研究に助成金を交付する
対象者	代表世話人および世話人は会員であること。代表世話人は調査研究委員であることが望ましい。構成員は必要に応じて外部の専門家(非会員)でも可。他	申請者および構成員は40才以下の研究者であること。申請代表者は正会員であること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>申請時には、構成員は5名以上であり、非会員を構成員とすることができるが、過半数は正会員であること。</li> <li>構成員に最低1名は産業界のメンバーが入っていることが望ましい。</li> <li>活動開始時には、非会員の構成員は会員になること。</li> </ul>	応募者(代表者)は、応募年4月1日時点で45歳以下の日本の教育機関または公的研究機関に所属し、日本国内で研究に従事する者(学生・大学院生および企業との兼務者を除く)であること。ただし、共同研究者は国外でも可とする。他
研究期間	5年間(申請により最長8年可)	2年間(延長なし)	2年間
支給金額	年間運営費 15万円 用途は、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費等の運営費用とする	年間50万円を上限 用途は、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費等の運営費用とする	100万円以下 用途は、研究等に直接必要な費用及び所属組織の必要最低限の間接経費とする
審査	調査研究委員会にて審査後、理事会にて承認	調査研究委員会にて審査後、理事会にて承認	調査研究委員会にて審査後、理事会にて承認
採択上限	新規2件程度、更新2件程度	5件以内	10件以下
活動報告	研究会活動期間中に講演大会公募シンポジウムや金属学会シンポジウムを計画すること。	講演大会において講演(若手研究グループの企画セッション等が望ましい)を行う。 1年経過後および活動終了後に報告書A4版1枚を調査研究委員会に提出し、会報および本会ホームページにも掲載する。	研究終了6ヶ月後までに、終了報告書(A4様式1枚)及び成果報告書を日本語(専門語等で部分的に外国語を使用することは可)で作成。 研究成果は研究開始時から研究完了後1年までの間に本会の講演大会における発表2件及び本会の欧文誌又は会誌に論文を投稿すること。
募集期間	例年7月会告 締切9月初旬	例年7月会告 締切9月初旬	例年1号会告 締切4月末日

# 2027年春期講演大会 公募シンポジウムテーマ募集

提案期限：2026年9月1日(火) 期日厳守

会員の研究活動の一層の活性化を図ることを目的として、春秋講演大会において会員からの提案テーマによるシンポジウム講演を実施いたしてあり、状況を呈してあります。明年の春期講演大会の公募シンポジウムテーマを募集いたします。次の要領をご参照のうえ、活発な討論が期待できる有益なテーマを積極的にご提案下さい。(提案様式はホームページよりダウンロードして下さい。)

## 【募集対象の大会】

2027年春期講演大会(東京科学大学)

## 【実施要領】

- 境界領域を取り込むもの、最新の情報を含むもの、適度な討論展開ができるもの。
- 一般会員、若手・中堅研究者の、斬新なアイデアによる提案を期待する。
- これまでの金属学会になかったテーマを歓迎する。一つのシンポジウムの講演件数は10件以上であることを目安とする。
- 採択したテーマは、公募シンポジウムとして、講演申込を募集会告する。
- 採択された場合、提案者(企画責任者)はテーマ責任者の代表者として、積極的に講演募集を行い、また講演プログラムを編成する。シンポジウムの企画に積極的な方々が将来、調査研究・講演大会などで主導的に活躍されることを期待する。

## 【優秀口頭発表賞の実施について】

2026年秋期講演大会より、講演大会の活性化および材料分野の若手研究者の発表を奨励するため、公募シンポジウムにおいて口頭発表賞を実施いたします。口頭発表賞の実施については、各テーマ企画責任者の意向によるものとしております。

## 〈授賞要件・選考〉

- 発表時点で30歳以下の学生(過去にこの賞を授賞していない者で代理発表者ではない)
- 一テーマ5件以上のエントリーがあった場合のみ選考対象とする
- 発表1件につき3名の審査委員で審査を行う。(講演大会委員または発表セッションに関する専門分野の正員を代表責任者が選定する。)
- 代表責任者の審査員選定に基づき、審査依頼および集計は事務局が行う。

## 1. 講演の種類 基調講演と応募講演

## 2. 提案書の内容

①テーマ、②テーマ英語名、③趣旨、④基調講演の予定題目と講演者、⑤推定講演数、⑥希望会場広さ・開催希望日、⑦提案者所属・役職/氏名、⑧通信先住所・TEL・FAX、E-mail、⑨公募シンポジウム優秀口頭発表賞の有無、⑩SDGs マークの選択※

※カーボンニュートラルに関するテーマや講演がある場合、2026年春期講演大会よりマークをプログラムに表示することになりました。

## 3. 提案書送付先

下記宛てE-mailで送付して下さい。2、3日過ぎても受理返信通知のない場合はご連絡下さい。

## 4. テーマの選定

講演大会委員会で選定し、結果は提案者に通知します。

## 5. 採択テーマの告知と講演募集

「まてりあ」11号2027年春期大会講演募集会告ならびに本会ホームページで行う。

## 6. 講演申込締切日 2027年1月初旬予定

## 7. 講演プログラム

テーマ責任者がプログラム編成し、講演大会委員会へ提出する。

## 8. 講演時間

応募講演 15~25分(+討論時間5~10分=合計20~35分)

基調講演 30分(+討論時間10分=合計40分)

## 9. 講演概要原稿分量 A4判1ページ(応募講演、基調講演とも)

## 【公募シンポジウム企画の採択基準】

- テーマ責任者の名称  
企画責任者(シンポジウム chair)および共同責任者(シンポジウム co-chair)
  - 企画責任者は会員であること。
  - テーマ責任者は複数テーマを兼任しないこと。
  - テーマ責任者には、了解を得た講演大会委員が入っていること。
  - 講演大会委員(専門分野)リストはホームページに掲載し、連絡先等は事務局に問合せする。
- 講演大会委員会で企画責任者(代理者可)は企画提案の説明を行うこと。
- 継続テーマの採択条件(上記に追加)  
今後も同一テーマのシリーズ化で公募シンポジウムを希望する場合は、会員の研究活動一層の活性化を図ることを目的とした下記の採択基準の条件を満たす提案が求められます。
  - 全講演数の半数以上の応募講演数が見込まれること。
  - 基調講演の非会員枠は原則、1~2件とし、会員の発表の場とすること。
  - 提案書の趣旨にどのような科学的知見が得られるかの記載があること。
  - 継続テーマ提案が採択条件を満たさない場合、採択を否決する。  
否決テーマに対しては、一般講演を容認することもある。

## 【参考】2026年春期講演大会における公募テーマ

S1	高温材料の変形と破壊
S2	特異反応場における時間/空間応答を利用した新奇材料構造創成Ⅷ
S3	データ創出・活用による磁性材料の研究開発Ⅲ

## 問合せ・照会先 (公社)日本金属学会 講演大会委員会宛

E-mail: stevent@jimm.jp

☎ 022-223-3685 ☎ 022-223-6312

# 2027年春期講演大会 企画シンポジウムテーマ募集

提案期限：2026年9月1日(火) 期日厳守

最新の研究や技術を発信し、多くの研究者・技術者が集い交流する魅力ある講演大会を目指して、2017年秋期講演大会より企画シンポジウムを実施しています。従来の公募シンポジウムとは違い、企業の方に積極的に講演頂くため、講演概要原稿の提出は問いません。講演発表は、一般(応募)講演枠は設けず、依頼講演および基調講演に限定いたします。

次の要領をご参照のうえ、活発な討論が期待できる有益なテーマおよび他学会との連携企画等積極的にご提案下さい。(提案様式はホームページよりダウンロードして下さい)

## 【募集対象の大会】

2027年春期講演大会(東京科学大学)

## 【実施要領】

1. 企画責任者 企画責任者は会員であること
2. 共同責任者 共同責任者は、公募シンポジウムの co-chair と重複してもよいが、同時開催の企画責任者(代表者)と重複しないこと。
3. 講演の種類 依頼講演および基調講演(一般会員からの講演募集は行わない)
4. 講演時間 依頼講演(15分, 20分, 25分), 基調講演((25分), 30分, 40分, 50分)
5. 質疑応答時間 5分または10分
6. 概要原稿 A4 サイズ 1 枚(他の講演種別と同じ) または 提出不要
7. 非会員講演者の取扱い 参加費, 交通費, 謝金は公募シンポジウムに準ずる。
8. テーマの決定 講演大会委員会において採択を決定し, 結果は提案者に通知します。  
企画責任者(代理者可)は, 講演大会委員会で企画提案の説明を行うこと。
9. 採択テーマの案内 「まてりあ」ならびに本会ホームページで行う。
10. 講演プログラム 企画責任者がプログラム編成し, 講演大会委員会へ提出する。
11. 提案書送付先 下記あて E-mail で送付して下さい。  
2, 3 日過ぎても受理通知のない場合は, ご連絡下さい。

問合せ・照会先 (公社)日本金属学会 講演大会委員会宛  
E-mail: stevent@jimm.jp  
☎ 022-223-3685

各締切日等：下記表参照

	2027年春期大会
企画募集案内	7月1日(7号会告)
応募締切	2026年9月1日
企画テーマの決定	2026年9月下旬
講演者リスト提出期日	2026年11月中旬
プログラム提出期日(講演登録締切)	2027年1月初旬予定
講演大会企画委員会(会場決定)	2027年1月下旬予定
プログラム公開	2027年2月初旬予定

○講演時間(討論時間)：15分～50分(5分～10分)

○提案のテーマがカーボンニュートラルに関するテーマの場合、提案書の項目にマークを選択して下さい

○非会員の取扱い(参加費, 交通費, 謝金)：公募シンポジウムに準ずる

○プログラム編成および送付方法：テーマ責任者が Word で作成し事務局にメール添付で送付する。

◇ ◇ ◇

## 2027年度 金属学会シンポジウム\*のテーマ募集

提案期限：2026年10月6日(火) 厳守

会員の研究活動の一層の活性化を図ることを目的として、春秋大会とは別に個別にシンポジウムを実施しております。この度、広く会員からシンポジウムのテーマを募集することにいたしました。つきましては、2027年度開催のシンポジウムテーマ(講演大会とは別)を募集いたします。セミナーシンポジウム委員会で協議のうえ、採否を決定いたします。(講演大会時のシンポジウムとは異なります。)

## シンポジウムの開催趣旨

金属学会シンポジウムは、話題性のあるトピックス等の特定のテーマに関心をもつ研究者が集まって、講演発表、相互討論を行い、問題への共通認識を深め、今後の研究の発展に資することを目的として実施する。

## 今回募集するシンポジウムの開催時期

2027年度(2027年3月1日～2028年2月29日)内に実施

## 応募要領

提出書類：提案書を下記提出先に送付して下さい。(提案書の様式はホームページよりダウンロードして下さい。)

提案締切：2026年10月6日(火)

### 応募から実施までの流れ

募集締め切り(10月)⇒セミナーシンポジウム委員会にて採択決定(10月頃)⇒事務局から採択通知と具体的実施準備の連絡⇒講師・プログラム・会場の決定(開催6か月前に確定必要)・会告⇒講師依頼⇒テキスト作成(開催2か月前に原稿必要)⇒参加者募集⇒開催

<世話人>

1. 講演者への内諾(内諾後、事務局から正式依頼いたします。)
2. プログラム日程案作成・会場手配(事務局と相談)
3. 開催当日の司会・進行

<講師> 事前の予稿集原稿(4頁程度)執筆と予稿

<事務局>

1. 費用支払い(会場費、旅費謝礼、昼食費等)
2. 予稿集編集・印刷
3. 講師依頼状配信
4. 関係学協会への協賛依頼

### 提案書提出先・問合せ

下記宛てにE-mailで送付して下さい。2,3日過ぎても受理の通知が届かない場合はご連絡下さい。

日本金属学会 セミナーシンポジウム委員会宛

E-mail: stevent@jimm.jp

☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312



### 研究集会

#### 研究会 No. 93

#### 2026年度 高温材料の強度と組織設計研究会開催

2026年度の「高温材料の強度と組織設計研究会」を下記のとおり開催いたします。本研究会は、様々な材料における高温材料の変形と破壊、高い力学特性を生み出す材料の内部組織に注目し、実験および計算の両面で基礎的な観点から議論を行って幅広い知見を横断的に共有すると共に、高温材料の長寿命化・高強度化のための原理・原則を見直すことを目的としています。研究会では多くの議論ができるよう、基調講演等(講演45分 質疑15分 ※世話人より依頼)と、一般講演(講演20分 質疑10分)での構成を予定しております(いずれも口頭発表)。皆様どうぞ奮ってご参加下さい。

(研究会代表世話人 富山県立大学 鈴木真由美)

日時 2026年9月2日(水)午後～9月4日(金)昼頃

会場 石川県青少年総合研修センター

(<https://www.ishikawa-seisoken.jp>)

〒920-0834 金沢市常盤町212-1

☎ 076-252-0666

参加費 3,000円(税込)

※定員に達した場合は申込をお断りさせていただく場合がございます。

交流会費 3,000円(税込)

宿泊費 9,000円(1泊あたり、税込 ※予定)

※一人部屋もしくは二人部屋を希望される場合は1,000円/1泊程度宿泊費が増える可能性があります。詳細は人数が確定後に改めてご連絡いたします。

昼食代 1,200円(2日目、税込)

講演申込 <https://forms.gle/nUtTEE5eA7VirCRm9>

聴講申込 同上

申込〆切 2026年7月17日(金)

※講演発表者以外の共同研究者(共著者)が研究会への参加を希望される場合は、別途参加申し込みが必要です。

※聴講のみのご参加も歓迎いたします。

問合せ先 高温材料の強度と組織設計研究会

世話人グループ

E-mail: [hightemp.maters.gr@gmail.com](mailto:hightemp.maters.gr@gmail.com)

(※上記で連絡がつかない場合は以下にお問い合わせ下さい。)

代表世話人 鈴木真由美: [smayumi@pu-toyama.ac.jp](mailto:smayumi@pu-toyama.ac.jp)

#### 研究会 No. 85

#### 第4回「水素が関わる材料科学の課題共有研究会」・第20回「水素若手研究会」開催案内および講演・参加募集

日時 2026年9月1日(火) 10:30(時間予定)～

(仮)広島大学放射光科学研究所(HiSOR)見学会(希望者)

13:00～17:30 (時間予定)研究会

\*研究会終了後、同学士会館にて懇親会開催予定です。

2日(水)9:30～16:00 (時間予定)研究会

場所 広島大学学士会館(東広島市鏡山1-1-2)

オーラル・ポスター発表申込期限 2026年7月28日(火)

(予稿提出期限8月18日(火))

<https://forms.cloud.microsoft/r/QXiUsEAaq6>

若手表彰(オーラル賞・ポスター賞)を設けます。

参加・聴講(発表無し)申込期限 2026年8月5日(水)

参加費 無料

\*当日は軽装にてご参加下さい。

講演および参加申込情報

<https://unit.aist.go.jp/epri/hius-s/ja/events/index.html>



問合せ先 産総研 浅野耕太 E-mail: [k.asano@aist.go.jp](mailto:k.asano@aist.go.jp)

詳細 あたりあ65巻6号437頁をご覧ください。

〈公募類記事・集会・セミナー・講習会・募集・お知らせ・助成〉  
分量：1/4頁(700～800文字)程度。

- 1.「まてりあ」とホームページに掲載：16,500円
2. ホームページのみ掲載：11,000円
3. DM(ダイレクトメール)発信のみ：11,000円
4. 1.2にDM発信を追加する場合：5,500円  
(公募求人追加は不可)

〈新刊案内〉会員による出版案内(書誌情報の掲載：無料)

原稿締切・掲載号：毎月1日締切で翌月号1回掲載。

原稿提出先：E-mail: materia@jimmm.jp

提出方法：電子メール(受け取りメールの確認をして下さい)

集 会

◇レアメタル研究会◇

- 主 催 レアメタル研究会
- 主 宰 者 東京大学生産技術研究所 教授 岡部 徹
- 協 力 (一財)生産技術研究奨励会(特別研究会RC-40)
- 共 催 東京大学マテリアル工学セミナー  
レアメタルの環境調和型リサイクル技術の開発研究会  
東京大学生産技術研究所 持続型材料エネルギーイン  
テグレーション研究センター  
東京大学生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付  
研究部門(JX 金属寄付ユニット)
- 協 賛 (公社)日本金属学会 他
- 開催会場 東京大学生産技術研究所  
An 棟 2F コンベンションホール 他  
〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1  
(最寄り駅：駒場東大前, 東北沢, 代々木上原)
- 参加登録・問い合わせ 岡部研究室 宮崎智子  
参加登録 E-mail: okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp  
問い合わせ E-mail: tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp

令和8年度 レアメタル研究会のご案内

(2026.4.30現在)

- 第121回 2026年7月10日(金)14:00～  
An 棟 2F コンベンションホール  
リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリ  
ッド研究会  
テーマ：非鉄金属の現状  
午後2:00～ 講演【敬称略】  
★プログラムの順番等は変更する可能性があります★  
•非鉄金属リサイクルの現状(仮)(60分)  
住友金属鉱山株式会社  
取締役 常務執行役員 金属事業本部長 竹林 優  
•レアメタルの最近の話題(仮)(30分)  
東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹  
•希土類金属の高温素材プロセス研究の動向と展望(60分)  
東北大学大学院工学研究科 教授 竹田 修  
午後6:00～研究交流会・意見交換会  
@An 棟 2F ホワイエ+竹田教授, 教授就任お祝いの会

- 第122回 2026年9月11日(金)14:00～  
東京大学・本郷・山上会館  
リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリ  
ッド研究会  
テーマ：若手研究者が金属プロセス工学の未来を熱く語る  
午後2:00～ 講演【敬称略】  
★プログラムの順番等は変更する可能性があります★  
•素材プロセス研究に込める夢と挑戦(仮)(50分)  
東北大学 多元物質科学研究所 助教 上村 源  
•鉄鋼・アルミニウムを通して学んだ材料プロセス研究  
—これまでとこれから—(仮)(50分)  
富山大学 都市デザイン学部材料デザイン工学科 講師  
加藤謙吾  
•Foundry(ファンドリー)研究の過去, 現在, 未来(60分)  
東京大学 生産技術研究所 講師 鳴海大翔  
午後6:00～研究交流会・意見交換会  
@東京大学・本郷・山上会館 談話ホール(1F)

- 東京大学 生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付研究  
部門(JX 金属寄付ユニット)主催  
半導体の未来に関するシンポジウム  
2026年9月25日(金)14:00～  
An 棟 2F コンベンションホール  
リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリ  
ッド研究会  
テーマ：半導体の未来  
午後2:00～  
•先端半導体技術の動向：過去, 現在と将来展望(仮)(60分)  
東京大学大学院工学研究科附属システムデザイン研究セ  
ンター(d.lab)上席研究員 平本俊郎  
•半導体用, 超高純度レアメタルについて(仮)(30分)  
東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹  
•半導体用ターゲット材の開発について(仮)(60分)  
JX 金属株式会社 執行役員, 先端材料事業本部薄膜材料  
事業部長(兼)先端材料事業本部データインフラ材料事業  
推進部長, 技術本部審議役 岡部岳夫  
•半導体素子微細化と, AI時代にも延命し続ける銅配線  
技術(60分)  
筑波大学 物理学科 客員教授, 株式会社トクヤマ 技術  
研究本部 フェロー 野上 毅  
午後6:00～研究交流会・意見交換会 @An 棟 2F ホワイエ

- 第123回 2026年11月6日(金)14:00～  
An 棟 2F コンベンションホール  
★チタンシンポジウム(第10回)★(合同開催)  
リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリ  
ッド研究会  
テーマ：チタンの現状と未来  
午後2:00～ 講演【敬称略】  
★プログラムの順番等は変更する可能性があります★  
•東邦チタニウムと JX 金属(旧・日本鉱業)(40分)  
東邦チタニウム株式会社 副社長執行役員 百野 修  
•航空機用チタン合金の鍛造技術の現状と将来展望(仮)

(40分)

株式会社神戸製鋼所 チタンユニット チタン工場 技術部 部長 百田悠介

●チタンの軽元素メタラジー(40分)

東北大学大学院 工学研究科 材料システム工学専攻 教授 成島尚之

●チタン研究の最近の進歩(仮)(40分)

東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹

●クロール法における生産性向上と品質の追求(仮)(40分)

株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ 技術部長 兼 DX 推進部長 山本慎也

午後6:00~研究交流会・意見交換会

@An 棟 2F ホワイエ+チタンシンポ, 第10回開催記念祝賀会

■第124回 2027年1月8日(金)14:00~

An 棟 2F コンベンションホール

【オンライン配信(Zoom Webinar, YouTube など)は行わない予定です】

★貴金属シンポジウム(第14回)+新年会★(合同開催)

テーマ: 貴金属の精錬・リサイクル

午後2:00~ 企画中

午後6:00~研究交流会・意見交換会

@An 棟 2F ホワイエ+貴金属シンポ, 新年会

■第125回 2027年3月12日(金)14:00~

東京大学・本郷・伊藤国際学術研究センター

伊藤謝恩ホール

リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリッド研究会

テーマ: 朱鴻民教授が熱く語る特別シンポジウム+慰労会

★(合同開催)

午後2:00~ 講演【敬称略】

★プログラムの順番等は変更する可能性があります★

●Electrochemical refining for high-purity titanium(仮)(30分)

北京科技大学(University of Science and Technology Beijing)教授 Prof. Jiao Shuqiang 焦树强

●巨人の肩に乗る(仮)(30分)

北京科技大学(University of Science and Technology Beijing)教授 Prof. Lu Xin 卢鑫

●朱鴻民先生のもとで学び(仮)(30分)

東北大学大学院工学研究科 教授 竹田 修

●朱先生との思い出(仮)(20分)

東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹

●溶融塩とレアメタル(仮)(60分)

東北大学大学院 工学研究科 教授 朱 鴻民

午後6:00~研究交流会・意見交換会

@伊藤国際学術研究センター ホワイエ+朱教授ご退職お祝いの会

レアメタル研究会ホームページ

[https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40\\_j.html](https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40_j.html)

公 募

◇東京大学 大学院工学系研究科  
マテリアル工学専攻 教員公募◇

募集人員 准教授(常勤)1ないし2名

採用時期・任期の有無 原則として2027年4月1日(採用決定後できるだけ早い時期が望ましい。)任期無し。

就業場所 東京大学本郷キャンパス  
(東京都文京区本郷7-3-1)

所 属 東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻

応募資格 原則として博士の学位の取得又は着任までに取得見込みの者。大学院工学系研究科マテリアル工学専攻において教育・研究指導に熱意を持って取り組むことができること。講義及び研究指導を英語で担当できること。

提出書類

(1) 履歴書:

\*東京大学統一様式を使用すること。 <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html> 参照

\*確実に連絡の取れる電子メールアドレスを明記すること。

(2) 研究業績リスト: 査読付論文リスト(主要論文3編以内に丸印), 学会講演リスト(国際会議と国内会議に分け, 招待講演があれば明記), 総説・著書リスト。原則として, 研究業績リストに Scopus の引用レポート(h-index)を添付すること。

(3) 教育実績, 社会的活動(学会活動), 知的財産, 外部資金獲得実績(代表・分担を明記), 受賞などのリスト。

(4) 主要論文3編以内の別刷(pdf)

(5) これまでの研究内容: 主要研究テーマを分類してそれぞれの内容を概説し, 関連する論文を示すこと。A4版3ページ以内。

(6) 着任後の教育・研究に対する抱負: A4版2ページ以内。

(7) 推薦書1通(面接による第二次選考前に提出)

(8) 所見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(電話番号, 電子メールアドレス)

応募方法 下記のwebサイトに必要事項を記入し, 必要なファイルをアップロードすること

(Google アカウントへのログインが必要です。)

<https://forms.gle/E8fSst8eLC6N9cFHA>

応募締切 令和8年8月17日(月)必着

選考方法 書類による第一次選考を実施後, 面接による第二次選考を行う。面接に必要な旅費, 滞在費等は応募者の負担とする。

問合せ先 〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻・専攻長

E-mail: [uchidak@material.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:uchidak@material.t.u-tokyo.ac.jp)

その他 ●応募書類は, 本応募の用途に限り使用し, 提出された書類は原則として返却しない。

URL <https://jimm.jp/information/wp-content/uploads/2026/06/1576.pdf>

## 公 募

### ◇核融合科学研究所研究教育職員 公募◇

公募人員 准教授又は助教(データ科学分野・任期無し) 1名  
所 属 研究部

研究・業務内容 核融合科学研究所では、令和8年度から学術研究基盤事業『超高温プラズマの「マイクロ集団現象」を中核とした核融合科学の学術研究基盤計画』(MCPoP プロジェクト)を推進しています。本プロジェクトでは、高温プラズマ実験とシミュレーションを連携した物理の探求と予測精度の高度化に資する「データ科学」を主要な研究課題のひとつとして位置付けています。今回の募集では、データ共同利用の利便性の向上に努めるとともに、データ科学の手法を通して計測データ解析のポテンシャルを引き上げ、シミュレーションや他のプラズマ実験との横断的連携を促進できる優れた人材を求めます。あわせて、学際的な展開を通じて、研究所の将来的な発展を担うことができる優秀な人材を期待しています。

希望事項 (1)博士の学位を有すること(助教応募者の場合、取得見込みも可) (2)データ共同利用の利便性の

向上とデータ科学の活用を通じて、MCPoP プロジェクトの推進に取り組む意欲がある者 (3)国内外の共同研究に積極的に取り組み、リーダーシップを発揮すること(助教応募者の場合、国内外の共同研究の推進に意欲のある者) (4)(准教授応募者のみ)学生の教育及び人材育成に意欲があること

応募締切 随時選考を行い、採用枠が埋まった時点で受付を締め切る。

就任時期 採用決定後のなるべく早い時期

提出書類 (1)履歴書 (2)これまでの研究内容 (3)就任後の抱負 (4)研究業績発表論文リスト (5)論文別刷 (6)添付する論文別刷の概要と本人の貢献を記載した文書 (7)推薦書

提出先 核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

nifs-jinji@nifs.ac.jp

上記書類 PDF データを添付し E-mail で送付すること。

推薦書のみ郵送も可。

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6

問合せ先 上記提出先に同じ ☎ 0572-58-2013

公募の詳細は本研究所の WEB ページをご覧ください。

URL <https://www.nifs.ac.jp/jinji/index.html>



～ 掲示板(公募記事等)はホームページ  
([https://jimm.jp/information/bulletin\\_boad/](https://jimm.jp/information/bulletin_boad/))にも記載しております。～



公益社団法人 **日本金属学会** The Japan Institute of Metals and Materials

### 〈講演大会 今後の予定〉

2026年秋期(第179回)講演大会

日時: 2026年9月23日(水・祝)～25日(金) 会場: 秋田大学手形キャンパス

2027年春期(第180回)講演大会

日時: 2027年3月8日(月)～10日(水) 会場: 東京科学大学大岡山キャンパス

秋期(第181回)講演大会

日時: 2027年9月22日(水)～24日(金) 会場: 広島大学東広島キャンパス

# 金属学会講習会※：現地開催

※金属学会講習会が新しく始まります！！

◎金属学会講習会は、金属学に関連する各種の実践的ノウハウを学び、教育・研究に関するスキルアップを目的とする活動の一環です。2026年度より始動いたします。ぜひご活用下さい。

**New!!**

## ～電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用： 電池から腐食まで～

電気化学インピーダンス法は、対象とする電極に微小な交流正弦波信号を印加して、応答する信号の振幅と位相差からインピーダンスを求める測定し、電極界面の情報を非破壊で取得・解析する手法です。本講習会は測定手法の原理を中心とした基礎に関する座学と電池および腐食に関する計測デモを交えて、受講者が本手法の概要について理解することを目的としています。多くの方のご参加をお待ちしております。

(企画世話人 大阪大学 土谷博昭, 物質・材料研究機構 堤 祐介, 東京科学大学 大井 梓)

日時 2026年10月8日(木)10:00～17:00

場所 大阪大学吹田キャンパス 材料開発・物性記念館2階研修室(〒565-0871 吹田市山田丘2-1)

募集定員 30名

受講料・受講資格(テキスト代含む・税込み)

受講資格	事前申込
正員	10,000円
学生	5,000円
非会員	15,000円

※維持員社員、協賛学協会会員は正員扱い。  
※学生は会員、非会員の区別なし。

申込サイト <https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0037>

申込締切 2026年9月29日(火)登録分まで

テキストの送付 当日、資料を配布予定です。

受講料支払方法 ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい。

問合先 (公社)日本金属学会 シンポジウム参加係

E-mail: [meeting@jimm.jp](mailto:meeting@jimm.jp) ☎ 022-223-3685 ☎ 022-223-6312

カリキュラム

10月8日(木)10:00～17:00

10:00～12:00 座学：電気化学インピーダンス法の基礎

講師：星 芳直(名工大)

—昼食・休憩—

13:30～14:30 座学・デモ：電気化学インピーダンス測定におけるノイズ対策

講師：樋口 望(東陽テクニカ)

14:30～15:30 計測デモ①：腐食

講師：大井 梓(東京科学大)

—休憩—

15:45～16:45 計測デモ②：電池

講師：横島 時彦(名大)

16:45～17:00 質疑応答

[協賛予定] 化学工学会, 軽金属学会, ステンレス協会, 電気化学会, 土木学会, 日本機械学会, 日本原子力学会, 日本鋼構造協会, 日本材料学会, 日本チタン学会, 日本鉄鋼協会, 日本バイオマテリアル学会, 日本非破壊検査協会, 日本プラントメンテナンス協会, 日本防錆技術協会, 日本保全学会, 表面技術協会, 腐食防食学会, 溶接学会

# 日本金属学会オンライン教育講座 開催案内

**New!!**

## 『材料組織弾性学の基礎と応用』

申込期間：2026年7月1日(水)～9月14日(月)

日 時 1日目 2026年9月28日(月)13:30-16:50 2日目 9月29日(火)13:30-16:50

### 講義概要

不均一な応力場・ひずみ場および弾性エネルギー場を記述可能なマイクロメカニクスの理論体系は、固相における相変態・組織形成および各種欠陥等の理解に極めて有益です。さらにフェーズフィールド微視的弾性論は、マイクロメカニクスの数理を、任意形態の材料組織へ適用するために整備された計算理論体系です。

さらにこれら一連の解析手法は、複合材料のマクロ的な諸特性解析(熱拡散、物質拡散、電気伝導、透磁率など)へ広く横展開可能です。本講座では、基礎理論および複合材料のマクロ特性解析手法について解説するとともに、最近のAIエージェントを援用した近未来の材料工学についても触れる予定です。

本講座では、当日に受講できない方や理解を深めたい受講者の方のために、講義の見逃し配信を行います(講座開催2週間後から1ヶ月間を目安に配信予定)。受講申込み者は追加料金なしで視聴できます。

### カリキュラム

**2026年9月28日(月) 13:30～16:50**

13:30-15:00 マイクロメカニクスの基礎(講師：小山 敏幸)

15:00-15:20 一休憩

15:20-16:50 フェーズフィールド微視的弾性論(講師：小山 敏幸)

**2026年9月29日(火) 13:30～16:50**

13:30-15:00 セカント法の基礎と応用(様々な特性計算への横展開)(講師：小山 敏幸)

15:00-15:20 一休憩

15:20-16:50 AIエージェントを援用した近未来の材料工学(講師：小山 敏幸)

### 講師紹介(略歴)

物質・材料研究機構 構造材料研究センター・特命研究員 小山 敏幸

1986年3月名古屋工業大学工学部金属工学科卒業、1988年3月名古屋工業大学大学院工学研究科博士前期課程修了、1990年4月同博士後期課程単位取得退学後、名古屋工業大学工学部助手、1996年9月博士(工学)《名古屋工業大学》取得、2002年4月物質・材料研究機構計算材料科学研究センター主任研究員、2005年4月同主幹研究員、2009年4月同新構造材料センターグループリーダー、2010年4月名古屋工業大学大学院工学研究科准教授、2011年4月同教授、2015年4月名古屋工業大学大学院工学研究科教授、2025年4月物質・材料研究機構構造材料研究センター特命研究員、現在に至る。

コーディネーター 大阪大学大学院工学研究科教授 多根 正和

受講方法 オンライン

視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申込み者にメールでご案内します。

申込方法 下記のサイトよりお申込み下さい。

①今年度初めての受講(2026年3月1日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0027>

②今年度2講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0028>

### 受講料

対象者	1講座基本料金	2講座目以降割引料金※
正員	20,000円	15,000円
学生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

○本会維持員会社社員、協賛学協会会員は正員扱い。

○学生は会員、非会員の区別なし。

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を2講座以上受講する場合、2講座目からは割引料金(25%割引)となります。

本会の維持員社員が同一講座に3名以上でお申込みの場合、受講料が正員価格より25%割引となります(お申込み前にご相談下さい)。ただし、複数受講との重複割引はありません。

申込期間 2026年7月1日(水)~9月14日(月)

※今回、通常より短い期間での受付となっておりますので、ご注意ください。

受講料支払方法 ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい。

問合せ先 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係

E-mail: meeting@jimmm.jp ☎ 022-223-3685 ☒ 022-223-6312

#### 協賛予定

エネルギー資源学会、応用物理学会、金属系材料研究開発センター、軽金属学会、軽金属製品協会、合金状態図研究会、資源・素材学会、ステンレス協会、素形材センター、電気化学会、電気学会、日本アルミニウム協会、日本MRS、日本化学会、日本ガスタービン学会、日本機械学会、日本材料科学会、日本材料学会、日本磁気学会、日本セラミックス協会、日本塑性加工学会、日本チタン協会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本物理学会、日本分析化学会、粉体粉末冶金協会、腐食防食学会、表面技術協会、日本チタン学会、日本バイオマテリアル学会

## 『イオンビームを用いた材料解析技術の基礎と応用』

申込期間：2026年5月1日(金)~7月8日(水)

日時 1日目 2026年7月15日(水)13:30~16:45  
2日目 7月16日(木)13:30~17:15

#### 講義概要

本講座では、材料中の微細構造や組成を高精度に把握するためのイオンビーム分析技術「反跳粒子検出法(ERD)」および「ラザフォード後方散乱法(RBS)」について、その基礎原理から応用までを体系的に解説します。これらの手法は、元素の深さ分布測定や、SEM-EDSでは困難なLiなどの軽元素の定量に優れ、薄膜・バルク・界面の評価に広く用いられています。本講座では、測定メカニズム、スペクトル解析の実際、装置構成や測定条件設定のポイントに加え、最新の研究事例も紹介し、初学者から実務者まで理解を深める内容を目指します。

#### カリキュラム

##### 2026年7月15日(水)13:30~16:45

13:30~15:00 RBS, PIXE, NRAによる表面分析の原理と応用(講師:高廣 克己)

15:00~15:15 一休憩

15:15~16:45 飛行時間測定弾性反跳粒子検出(TOF-ERDA)法の基礎および薄膜中軽元素分析への応用  
(講師:安田 啓介)

##### 2026年7月16日(木)13:30~17:15

13:30~15:30 高エネルギーイオンビーム分析を用いた材料中の軽元素分析(講師:土屋 文)

15:30~15:45 一休憩

15:45~17:15 中エネルギーイオン散乱分析を用いた表面構造分析とイオン散乱・注入シミュレーションの解説  
(講師:西村 智朗)

申込締切 2026年7月8日(水)

詳細 までりあ65巻6号446頁 or ホームページをご覧ください。



『金属材料の耐環境性(2)高温酸化・高温腐食の基礎—熱力学・速度論・高温強度—』

配信：2026年8月3日(月)～9月2日(水)

**講義概要** 耐熱金属材料の使用環境は近年、益々高温化し、金属材料にとって非常に厳しい環境となるため、材料の高温特性向上が強く求められています。また高温酸化・腐食の原理原則に基づき高温酸化・腐食現象を正しく把握して、適切な材料選定や防食対策に活かすことが要求されます。本講座では、熱力学、速度論及び高温強度を中心に、高温酸化・腐食の基礎を学習することで、業務で高温酸化・腐食に携わる研究者・技術者として必要な素養を醸成することを目標とします。本講座は2023年6月に開催した当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただきます。配信期間中は好きな時間に聴講できます。

**カリキュラム** 1時限目 高温酸化・腐食の熱力学(講師：上田 光敏)  
 2時限目 高温酸化の速度論(講師：上田 光敏)  
 3時限目 高温腐食・熔融塩腐食(講師：野口 学)  
 4時限目 酸化物の高温強度と高温酸化皮膜の機械特性(講師：南口 誠)

※トータルで約6時間の講義です。(1コマ90分)

**講師紹介**

**東京科学大学物質理工学院准教授 上田 光敏**

1999年3月東京工業大学工学部金属工学 科卒業。2004年3月東京工業大学博士(工学)。東京工業大学大学院理工学研究科材料工学専攻・助手・助教・准教授を経て、2016年4月より現職(改組)。

**荏原製作所 野口 学**

1991年3月北海道大学工学部金属工学科卒業。1996年3月北海道大学博士(工学)。1996年4月株式会社荏原製作所入社。2019年4月より現職。

**長岡技術科学大学教授 南口 誠**

1990年3月長岡技術科学大学工学部創造設計工学科卒業。1995年3月長岡技術科学大学工学博士。東京工業大学助手・長岡技術科学大学助教授を経て、2018年4月より現職。

**視聴期間 2026年8月3日(月)～9月2日(水)**

**視聴方法** オンデマンド配信システム UIshare から視聴いただきます。

資料は同システムのウェブサイトからダウンロードいただけます。

視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申し込み者にメールで案内します。

**申込方法** ①今年度※初めての受講(※2026年3月1日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0029>

②今年度2講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0030>

**受講料**

対象者	1講座基本料金	2講座目以降割引料金※
正員	20,000円	15,000円
学生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

※本会維持員会社社員、協賛学協会会員は正員扱い。  
 ※学生は会員、非会員の区別なし。

※今年度開催のオンライン教育講座を2講座以上受講する場合は、2講座目から割引料金となります。

※本会の維持員社員は正員と同額の受講料です。さらに、維持員が同一講座に3名以上の申込みをすると受講料がさらに25%オフとなります(申込前にご相談下さい)。ただし、複数受講との重複割引はありません。

**申込締切 2026年8月7日(金)**

通常より申込締切日が早くなっております。お気をつけ下さい。

**受講料支払方法** ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい。

問合せ先 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係  
〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32  
E-mail: meeting@jimm.jp ☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

#### 協賛予定

エネルギー資源学会, 応用物理学会, 金属系材料研究開発センター, 軽金属学会, 軽金属製品協会, 合金状態図研究会, 資源・素材学会, 自動車技術会, ステンレス協会, 素形材センター, 電気化学会, 電気学会, 日本アルミニウム協会, 日本MRS, 日本化学会, 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本磁気学会, 日本セラミックス協会, 日本塑性加工学会, 日本チタン協会, 日本鋳造工学会, 日本鉄鋼協会, 日本物理学会, 日本分析化学会, 粉体粉末冶金協会, 腐食防食学会

## 『金属組織学の基礎』

配信：2026年8月3日(月)～9月2日(水)

**講義概要** 金属材料の力学特性は、そのマイクロ組織(Microstructure)と密接に関係しています。そして、マイクロ組織は加工熱処理プロセス中に起こる相変態現象を通して形成されます。本講座では再結晶・拡散変態・マルテンサイト変態の三現象を取り上げ、マイクロ組織の形成機構を基礎から理解することに重点を置きます。その上で、望みの力学特性を得るためのマイクロ組織に注目して、そのマイクロ組織を達成するための化学組成とプロセス条件について鉄鋼材料における具体例をあげながら説明します。

本講座は2025年5月に開催した当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただけます。配信期間中は好きな時間に聴講できます。

#### カリキュラム

- 1時限目 再結晶1 変形と回復
- 2時限目 再結晶2 再結晶と粒成長
- 3時限目 拡散変態1 変態の種類と核生成
- 4時限目 拡散変態2 析出物の成長と形態
- 5時限目 マルテンサイト変態1 変態の特徴と速度論
- 6時限目 マルテンサイト変態2 形状記憶効果とTRIP効果, 鋼のマルテンサイト変態と高強度鋼

※トータルで約6時間の講義です。

#### 講師紹介

物質・材料研究機構名誉フェロー 九州大学名誉教授 津崎 兼彰

1977年京都大学工学部金属加工学科卒業, 1982年同大学院工学研究科博士課程修了, 1983年米国マサチューセッツ工科大学博士研究員, 1985年京都大学工学部助手, 1991年同助教授, 1996年同大学院工学研究科助教授(配置換), 1997年金属材料技術研究所ユニット・リーダー, 2002年物質・材料研究機構超鉄鋼研究センター・副センター長, 2006年同新構造材料センター・センター長, 2011年同元素戦略センター・センター長, 2013年九州大学大学院工学研究院教授, 2016年同主幹教授, 2020年同名誉教授, 2020年物質・材料研究機構招聘研究員, 2021年同フェロー, 2025年同名誉研究員, 現在に至る。

コーディネーター 物質・材料研究機構グループリーダー 上路 林太郎

**視聴期間** 2026年8月3日(月)～9月2日(水)

**視聴方法** オンデマンド配信システム UIshare から視聴いただけます。  
資料は同システムのウェブサイトからダウンロードいただけます。  
視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申し込み者にメールで案内します。

**申込方法** ①今年度※初めての受講(\*2026年3月1日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0031>

②今年度2講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要です)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0032>

## 受講料

対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金*
正員	20,000円	15,000円
学生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

※本会維持員会社社員、協賛学協会会員は正員扱い。  
※学生は会員、非会員の区別なし。

※今年度開催のオンライン教育講座を2講座以上受講する場合は、2講座目から割引料金となります。

※本会の維持員社員は正員と同額の受講料です。さらに、維持員が同一講座に3名以上の申込みをすると受講料がさらに25%オフとなります(申込前にご相談下さい)。ただし、複数受講との重複割引はありません。

## 申込締切 2026年8月7日(金)

通常より申込締切日が早くなっております。お気をつけ下さい。

受講料支払方法 ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい。

問合先 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

E-mail: meeting@jimm.jp ☎ 022-223-3685 ☎ 022-223-6312

## 協賛予定

エネルギー資源学会、応用物理学会、金属系材料研究開発センター、軽金属学会、合金状態図研究会、資源・素材学会、ステンレス協会、素形材センター、電気化学会、電気学会、日本アルミニウム協会、日本MRS、日本化学会、日本ガスタービン学会、日本機械学会、日本材料科学会、日本材料学会、日本磁気学会、日本セラミックス協会、日本塑性加工学会、日本チタン協会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本物理学会、日本分析化学会、粉体粉末冶金協会、腐食防食学会、表面技術協会、日本チタン学会、日本バイオマテリアル学会

# 『めっき：成膜法としての基礎と材料化学的アプローチ』

配信：2026年9月1日(火)～9月30日(水)

**講義概要** 代表的な金属膜作製法であるめっきは防錆、装飾から半導体微細配線やナノ・マイクロ材料製造までその用途を広げながら発展を続けています。本講座では、めっきの基礎に続いて膜質の制御に欠かせない添加剤の役割について解説し、近年の新たな展開としてナノ結晶合金作製と濃厚電解質溶液の利用、めっき膜中水素の挙動について紹介します。

本講座は、2025年10月に開催した当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただきます。配信期間中は好きな時間に聴講できます。

## カリキュラム

- 1 時限目 めっきの基礎(講師：平藤 哲司)
- 2 時限目 めっきにおける各種添加剤の役割(講師：赤星 晴夫)
- 3 時限目 めっき法によるナノ結晶合金の作製(講師：瀧川 順庸)
- 4 時限目 濃厚電解質溶液を利用しためっき(講師：邑瀬 邦明)
- 5 時限目 めっき膜中の水素の挙動解析(講師：福室 直樹)

\*トータル約6時間の講義になります。

## 講師紹介

### 京都大学名誉教授 平藤 哲司

1981年3月 京都大学工学部金属系学科 卒業；1983年3月 京都大学大学院工学研究科金属加工学専攻 修士課程修了；1987年5月 京都大学大学院工学研究科冶金学専攻 博士後期課程修了；1987年6月～ トロント大学 博士研究員；1988年6月～ 京都大学工学部助手；1994年8月～ 京都大学工学部助教授；1996年4月～ 京都大学大学院工学研究科助教授；2006年4月～ 東北大学多元物質科学研究所教授；2007年8月～ 京都大学大学院エネルギー科学研究科教授；2024年4月～ 京都大学名誉教授、現在に至る。

### 関東学院大学客員教授 赤星 晴夫

1981年3月 東北大学大学院応用化学専攻 博士後期課程修了；1981年4月～2015年10月 株式会社日立製作所日立研究所；2011年11月～2012年9月 東北大学学際化学国際高等研究センター客員教授；2018年4月～2021年3月 長岡技術科

学大学工学部材料学科 卒業；1998年3月 東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了 博士(工学)；1998年4月～ 財団法人ファインセラミックスセンター；2004年4月～ 大阪府立大学大学院工学研究科助教授；2007年4月～ 同准教授2018年4月～ 同教授；2022年4月～ 大阪公立大学大学院工学研究科教授，現在に至る。

### 大阪公立大学教授 瀧川 順庸

1993年3月 東京大学工学部材料学科 卒業；1998年3月 東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了 博士(工学)；1998年4月～ 財団法人ファインセラミックスセンター；2004年4月～ 大阪府立大学大学院工学研究科助教授；2007年4月～ 同准教授2018年4月～ 同教授；2022年4月～ 大阪公立大学大学院工学研究科教授，現在に至る。

### 京都大学教授 邑瀬 邦明

1991年3月 大阪大学工学部応用化学科 卒業；1993年3月 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 博士前期課程修了；1996年3月 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 博士後期課程修了；1993年4月～1996年6月 日本学術振興会特別研究員 DC1, PD；1996年7月～ 京都大学大学院工学研究科助手；2004年11月～ 京都大学大学院工学研究科助教授；2012年1月～ 京都大学大学院工学研究科教授，現在に至る。

### 兵庫県立大学准教授 福室 直樹

1994年3月 東京都立大学工学部工業化学科 卒業；1996年3月 東京都立大学大学院工学研究科応用化学専攻 修士課程修了；1999年3月 東京都立大学大学院工学研究科応用化学専攻博士課程修了；1999年4月～2002年3月 NTT アドバンステクノロジ株式会社；2002年4月～ 姫路工業大学工学部助手；2004年4月～ 兵庫県立大学大学院工学研究科助手；2016年4月～ 兵庫県立大学大学院工学研究科准教授，現在に至る

コーディネーター 兵庫県立大学准教授 福室 直樹，大阪公立大学教授 瀧川 順庸

### 視聴期間 2026年9月1日(火)～9月30日(水)

視聴方法 オンデマンド配信システム UIshare から視聴いただきます。

資料は同システムのウェブサイトからダウンロードいただけます。

視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申込み者にメールで案内します。

申込方法 下記のサイトよりお申込み下さい。

①今年度初めての受講(2026年3月1日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0035>

②今年度2講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0036>

### 受講料

対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金*
正員	20,000円	15,000円
学生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

○本会維持員会社社員，協賛学協会会員は正員扱い。  
○学生は会員，非会員の区別なし。

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を2講座以上受講する場合，2講座目からは割引料金(25%割引)となります。

本会の維持員社員が同一講座に3名以上でお申込みの場合，受講料が正員価格より25%割引となります(お申込み前にご相談下さい)。ただし，複数受講との重複割引はありません。

### 申込期間 2026年6月1日(月)～9月8日(火)

受講料支払方法 ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい。

問合先 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

E-mail: [meeting@jimm.jp](mailto:meeting@jimm.jp) ☎ 022-223-3685 ☎ 022-223-6312

### 協賛予定

エネルギー資源学会，応用物理学会，金属系材料研究開発センター，軽金属学会，軽金属製品協会，合金状態図研究会，資源・素材学会，ステンレス協会，素形材センター，電気化学会，電気学会，日本アルミニウム協会，日本MRS，日本化学会，日本ガスタービン学会，日本機械学会，日本材料科学会，日本材料学会，日本磁気学会，日本セラミックス協会，日本塑性加工学会，日本チタン協会，日本鋳造工学会，日本鉄鋼協会，日本物理学会，日本分析化学会，粉体粉末冶金協会，腐食防食学会，表面技術協会，日本チタン学会，日本バイオマテリアル学会

# 『弾性異方性の考え方』

配信：2026年7月1日(水)～7月31日(金)

**講義概要** 多くの力学特性や組織変化の基本的要因の一つである弾性異方性の基本的な考え方とその利用例を講義する。結晶構造の対称性と物性、巨視的な弾性と微視的な弾性の関係、弾性定数の測定方法、組織形成と弾性異方性について基礎から解説を行います。本講座は2023年5月に開催した当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただきます。配信期間中は好きな時間に聴講できます。

## 講師紹介

神戸大学教授 田中 克志

1986年3月大阪大学基礎工学部物性物理工学科卒業，1991年3月大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程修了，同年3月工学博士(大阪大学)。同年4月京都大学工学部助手。2002年10月香川大学工学部助教授。2005年4月京都大学大学院工学研究科助教授。2007年4月同准教授。2010年10月神戸大学大学院工学研究科教授，現在に至る。

申込締切 **2026年7月8日(水)**

詳細 までりあ65巻6号444頁 or ホームページをご覧ください。



◎本会では、会員等向けの基礎教育講座をオンラインで行っております。本会フェローや著名な研究者らによる講義シリーズです。開催後に講義録画をオンデマンドの見逃し配信もしております。是非ご活用下さい。

<https://jimmm.jp/event/online/>

## 新 入 会 員

(2026年4月1日～2026年4月30日)

### 正 員

小澤史絢 名古屋大学  
坂本考史 日亜化学工業株式会社  
俊和希 大阪大学

仏山明彦 東京藝術大学  
馬 瑾 雯 日本大学  
眞木教全 室蘭工業大学

宗安慧悟 東京大学  
森野嵩教 熊本大学  
王子豪 東北大学

### 学 生 員

石田光汰 日本大学  
神谷 漸 大同大学  
橘川和真 北海道大学  
鬼頭佳汰 大同大学

田中駿匡 芝浦工業大学  
中西健太郎 北海道大学  
早津元博 日本大学  
何 非凡 横浜国立大学

日野晶子 横浜国立大学  
Bae Jaeyoon 東北大学

### ユース会員

井上珠喜 久留米工業高等専門学校

渡邊真子 千葉県立東葛飾高等学校

日本金属学会誌掲載論文

Vol. 90, No. 7 (2026)

—論文—

非懸濁溶液からのZn-V系複合膜の電析挙動とその微細構造に及ぼす電解因子の影響

河島 亮太, 大上 悟, 中野 博昭

酸化ネオジムを用いた塩素発生用電極からのルテニウムの揮発分離回収法

飯野 亮祐, 高橋 浩介, 永井 崇

Materials Transactions 掲載論文

Vol. 67, No. 7 (2026)

—Special Issue on Advanced Metal Forming Technologies in Asia—

PREFACE Ming Yang and Quang-Cherng Hsu

A Digital Twin-Based Decision-Support Framework for Milling Processes

Cheng-Chi Chiang, Yi-Chi Wang, Ta-Jen Peng and Guan-Wei Du

Hot Deformation Behavior of 7075 Aluminum Alloy and Its Implementation in Enhanced Extrusion Simulation Accuracy

Thanh-Cong Nguyen, Tat-Tai Truong, Yu-Xuan Lin and Quang-Cherng Hsu

Unit-Cell Design of Metallic Heat Radiation Device by Micro- and Nano-Texturing

Tatsuhiko Aizawa, Hiroki Nakata and Takeshi Nasu

Effect of Elemental Proportions on the Mechanical Properties and Fracture Characteristics of  $Al_xCoCrFeNi_{(3.1-x)}$  High-Entropy Alloys under Various Strain Rates

Chi-Feng Lin, Wen-Nan Wang, Yuan-Ping Huang and Tao-Hsing Chen

Effect of Mulling of Green Sand and Metallurgical Parameters on the Fluidity of Molten Irons

Dyi-Cheng Chen, Li-Chan Lu and Lih-Zen Huang

Internal State Variable Model of Continuous Dynamic Recrystallization Behavior for Cold Drawn Pure Copper

Ryota Takamura, Ryuichi Arai, Nobufumi Ueshima and Katsunari Oikawa

Improving Flatness of Hot-Rolled Titanium Coil Using Residual Stress Characterization

Yi-Liang Ou, Yu-Sheng Yu and Shih-Kang Kuo

Warm Forming Behaviour, Ageing Response, and Microstructure-Formability Relationship of AA7075-T6 Aluminium Alloy

Imran Ismayil, Yo-Lun Yang, Uthayakumar Marimuthu, Wan-Ling Chen, Liang-Yu Chen and Hsuan Hsiao

Control on Shearing Process of Amorphous Electrical Steel Sheets by Punch-Edge Shaping and Finishing

Suguri Furuhashi, Hiroya Tatenno, Tatsuhiko Aizawa and Tomomi Shiratori

SpecMamba-AD: A Fast and Accurate Framework for Micro-Scale Defect Detection in Industrial PU Suction Cups

Chih-Yuan Chen, Yu-Hung Chiang, Ching-Hua Hung and Chun-Wei Wu

Effect of Tool Surface Finishing on Sheared Surface Characteristics in Shearing of Oxygen-Free Copper

Yuta Ichiyanagi, Kaname Watanabe, Tatsuhiko Aizawa and Tomomi Shiratori

Punch Edge Control for Tool Life Extension and Finer Blanking

Kenji Fuchiwaki and Tatsuhiko Aizawa

Estimation of Die Wear During Press Forming by Integrating Information from Die-Embedded 3-Axis Force and AE Sensors

Hiroto Uchida and Ming Yang

Characterization of Tensile Deformation of Hot Stamped Boron Steel Tailor-Welded Blanks (*Technical Article*)

Cheng-Kai ChiuHuang, Ming-Feng Chiang, Chih-Ying Huang and Shi-Wei Wang

—Regular Article—

Materials Physics

Nonlinear Dielectric Properties of the Relaxor Ferroelectric of Lead Magnoniobate - Scandoniobate

Hoai Thuong Nguyen, S. V. Baryshnikov, A. Yu. Milinskiy and Minh Thuyen Chau

Microstructure of Materials

Solute Drag by Grain Boundaries in Cu-Sn-P Alloy during Hot Deformation and Its Effect on Grain Refinement

Hiroimi Miura, Kuuya Suzuki, Yojiro Oba, Masato Watanabe and Tetsuro Hosogi

Mechanics of Materials

Slip System Analysis of Magnesium Alloy AZ31B in Warm Compression by Visco-Plastic Self-Consistent Simulation

Yusuke Matsuoka, Mingzhe Bian, Yuhki Tsukada, Toshiyuki Koyama and Yasumasa Chino

Anisotropy of Thermal Conductivity and P-Wave Velocity in Sedimentary Soft Rocks and Their Relationships with Porosity

Kodai Tomomatsu, Nana Kamiya, Weiren Lin and Kazuya Ishitsuka

Simple Estimation of Creep Properties of Negative Electrode for Lithium-Ion Battery at High Temperature

Yudai Furuhashi, Atsuki Takeuchi, Yoshinao Kishimoto, Yukiyoshi Kobayashi, Masaya Ueda and Shiori Tagai

**Influence of Clay-Doped Water on Permeability in Granite Rock Mass**

Yoshitaka Nara, Koki Kashiwaya, Kazuki Oketani, Hirokazu Fujii, Yue Zhao, Masaji Kato, Kazuhei Aoyagi, Yusuke Ozaki, Hiroya Matsui and Masanori Kohno

**Effect of Baking on Hydrogen Embrittlement of 6061-T6 Aluminum Alloy by Various Electroless Ni-P Plating**

Makoto Hino, Ayumu Asada, Keita Odawara, Ryoichi Kuwano, Seigo Kurosaka, Hiroki Okubo, Ryuki Tasaka and Keitaro Horikawa

**Materials Chemistry**

**Mechanical Properties of Electrodeposited Cu-Sn-Ni Alloy Films**

Daisuke Ogawa, Ryuji Hashiguchi, Masamitsu Hayashida and Takeshi Ohgai

**Effect of Initial Microstructure on the Low-Pressure Oxidation of Copper**

Seung Zeon Han, Eun-Ae Choi, Injoon Son, Hidemi Kato and Satoshi Semboshi

**Corrosion Resistance of Hot-Stamped Zinc-Coated Steel Sheet with a Coating Layer of the  $\alpha$ -(Fe, Zn) Phase**

Shota Hayashida and Hiroaki Nakano

**Thickness Uniformity in Dual-Layer Anodic Aluminum Oxide Films Achieved by Structural Control of Barrier Layer Using Current Recovery Method**

Yuta Takeuchi, Hideaki Matsuoka, Ryohei Sumi and Hiroaki Yabui

**Materials Processing**

**Mechanism of Sintered Layers Formation in Green Sand Molds Using Artificial Sands**

Zizheng Huang, Kazuhiro Matsugi, Yutaka Kurokawa and Yongbum Choi

**Microstructure of Strontium-Containing JIS ADC12 Alloy Solidified under Electromagnetic Stirring**

Keiji Shiga, Yuichiro Murakami and Naoki Omura

**Engineering Materials and Their Applications**

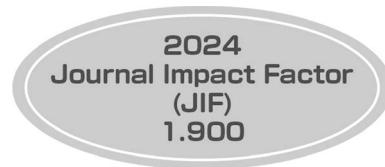
**Microstructure Control and Magnetic Domain Analysis of Fe-3Si/SUS316 Alloys Fabricated via Additive Manufacturing for Partial Non-Magnetization**

Hideaki Ikehata, Hajime Kato, Hiroshi Miyashita, Maho Kato, Takashi Maeshima, Mio Ban, Mitsuka Morimoto, Takuya Kita and Kosho Wada

**Effect of Total Zn + Mg Content on Precipitation and Strength-Ductility Balance in Al-Zn-Mg Alloys with Zn/Mg = 1**

Wanlalak Sanphiboon, Sota Shinozaki, Seungwon Lee, Taiki Tsuchiya, Abrar Ahmed, Susumu Ikeno, Tomoo Yoshida, Hiroaki Matsui and Kenji Matsuda

Announcement



まてりあ 第65巻8号 予告

〔最近の研究〕 金属強磁性薄膜における先端光計測技術と光機能性 .....NIMS 佐々木悠太  
〔入門講座〕 永久磁石材料学の諸要素第4回 磁気的特性長と逆磁区の核生成 .....フェロー 広沢 哲  
〔入門講座〕 低価格樹脂3Dプリンタの研究室での活用法2(概要と機種選定法).....愛教大 北村一浩  
—他—

編集の都合により変更になる場合がございます。



✉ 「まてりあ」「Materials Transactions」電子版の閲覧には会員マイページにあるIDとパスワードが必要です。こちらは定期的に更新されておりますので、ご確認下さいます様お願いいたします。

# 行事カレンダー

太字本会主催(ホームページ掲載)

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
<b>2026年7月</b>				
1～31	オンデマンド配信：オンライン教育講座「弾性異方性の考え方」(本号556頁)	日本金属学会	<b>TEL 022-223-3685</b> <b>meeting@jimm.jp</b> <b>https://event.atlas.jp/js/jimm/S0025</b>	<b>7.8</b>
3	腐食防食部門委員会第367回例会・見学会(京都)	日本材料学会	jimu@office.jsms.jp	6.26 正午
8～10	第63回アイソトープ・放射線研究発表会(東京)	日本アイソトープ協会	TEL 03-5395-8081 happyoukai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/	
9～10	金属学会シンポジウム「状態図・熱力学は未踏領域へ進む」(NIMS)(6号441頁)	日本金属学会	<b>TEL 022-223-3685</b> <b>meeting@jimm.jp</b> <b>https://jimm.jp/event/symposium/</b>	<b>6.30</b>
10	レアメタル研究会(東大生産技研/ハイブリット開催)(本号546頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
13	第9回統合的先端研究成果発表会(ハイブリッド開催)	軽金属奨学会	TEL 06-6271-3179 grant@lm-foundation.or.jp https://www.lm-foundation.or.jp/	
13～17	第14回対称性・群論トレーニングコース英語(つくば)	日本結晶学会	TEL 029-864-6196 tyoshimi@post.kek.jp http://pfwww.kek.jp/trainingcourse/	35名
15～16	オンライン教育講座：「イオンビームを用いた材料解析技術の基礎と応用」(本号551頁)	日本金属学会	<b>TEL 022-223-3685</b> <b>meeting@jimm.jp</b> <b>https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0023</b>	<b>7.8</b>
16～17	令和8年度中性子産業利用報告会	J-PARCセンター他	https://neutron.cross.or.jp/ja/events/26071617/	
20～23	The 3rd International Conference on Heterostructured Materials(韓国釜山)	KIM(The Korean Institute of Metals and Materials)	TEL +82-2-573-6207 office@ihsm3.org https://www.ihsm3.org/	
23～24 8.6～7	デジタルラジオグラフィに関する技術講習会(東京)	日本溶接協会	TEL 03-5823-6324 susumu_imaoka@jwes.or.jp https://www.jwes.or.jp/	
23～24	第16回核融合エネルギー連合講演会(北大)	プラズマ・核融合学会, 日本原子力学会	TEL 052-735-3185 c_ishiyama@jspf.or.jp	
23～24	第60回 X線材料強度に関するシンポジウム(徳島大)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	3.27
24	第100回技術セミナー「社会インフラを支える腐食防食技術～水道から宇宙まで広がる技術と知恵の最前線～」(東京)	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 naito-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/100.html	7.16
27	第452回講習会「半導体材料の精密加工技術～最新研究から最先端加工技術まで～」(中央大+ハイブリット)	精密工学会	TEL 03-5226-5191 jspe_koushu@jspe.or.jp https://www.jspe.or.jp/custom-event/event-16613/	
27～31	第14回対称性・群論トレーニングコース日本語(つくば)	日本結晶学会	TEL 029-864-6196 tyoshimi@post.kek.jp http://pfwww.kek.jp/trainingcourse/	35名
28～30	粉末 X 線解析の実践(東京科学大)	結晶学会	crsj-xray@conf.bunken.co.jp http://analytsci.org/xrd2026/	
30～31	第56回初心者のための有限要素法講習会第1部(演習付き)(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/	定員 30名
<b>2026年8月</b>				
3～9.2	オンデマンド配信：オンライン教育講座「金属材料の耐環境性(2)高温酸化・高温腐食の基礎—熱力学・速度論・高温強度—」(本号552頁)	日本金属学会	<b>TEL 022-223-3685</b> <b>meeting@jimm.jp</b> <b>https://jimm.jp/event/online/</b>	<b>8.7</b>
3～9.2	オンデマンド配信：オンライン教育講座「金属組織学の基礎」(本号553頁)	日本金属学会	<b>TEL 022-223-3685</b> <b>meeting@jimm.jp</b> <b>https://jimm.jp/event/online/</b>	<b>8.7</b>
5～6	第56回初心者のための有限要素法講習会第2部(演習付き)(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/	定員 20名
6～7	デジタルラジオグラフィに関する技術講習会(大阪)	日本溶接協会	TEL 03-5823-6324 susumu_imaoka@jwes.or.jp	
9～13	The 12th Pacific Rim International Conference on Advanced Materials and Processing (PRICM12)(Gold Coast, Queensland, Australia)	Materials Australia (MA)	https://www.pricm12.org/contact.html	
18～23	The 10th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology(TOCAT10)(早稲田大)	触媒学会	tocat10@catsj.jp https://tocat.catsj.jp/10/timetable_glance/	
24～25	第47回初心者のための疲労設計講習会(オンライン開催)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp	8.10
25	熱測定講習会2026(東京理科大)	日本熱測定学会	TEL 03-6310-6831 netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org/	
31～9.2	日本実験力学学会2026年度年次講演会(富山大)	日本実験力学学会	TEL 096-342-2702 office@jsem.jp https://www.jsem.jp/annual/	

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
<b>2026年9月</b>				
1～30	オンデマンド配信：オンライン教育講座「めっき：成膜法としての基礎と材料化学的アプローチ」(本号545頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meetinh@jimm.jp https://jimm.jp/event/online	9.8
1～2	第4回「水素が関わる材料科学の課題共有研究会」・第20回「水素若手研究会」(広島)(本号545頁)	研究会 No. 85	k.asano@aist.go.jp https://unit.aist.go.jp/epri/hius-s/ja/events/index.html	8.5
2～4	2026年度高温材料の強度と組織設計研究会(金沢)(本号545頁)	研究会No.93	hightemp.maters.gr@gmail.com https://forms.gle/nUtTEE5eA7VirCRm9	
2～4	2026年度工学教育研究講演会(岐阜大)	日本工学教育協会	2026_jsee_conference@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference/	
3～4	特定放射光施設シンポジウム2026(京都)	特定放射光施設ユーザー協団体(SpRUC)	TEL 050-3496-8833 users@spring8.or.jp http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2026/sp8sympo2026/	
3～5	第29回 XAFS 討論会(名大)	日本 XAFS 研究会	https://www.jxafs.org/conference/	
6～11	11th International Congress on Ceramics(札幌)	日本セラミックス協会	TEL 03-3362-5232 icc11@ceramic.or.jp https://www.ceramic.or.jp/icc11/	
9～11	第9回 国際工業炉・関連機器展「サーモテック2026」(東京)	日本工業炉協会	TEL 03-3262-8410 info@thermotec-expo.com	
11	レアメタル研究会(東大生産技研/ハイブリット開催)(本号546頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
14～15	第273回塑性加工技術セミナー「有限要素法 入門セミナー」	日本塑性加工学会	https://www.jstp.jp/	
14～16	第39回計算力学講演会(大阪工大)	日本機械学会	TEL 03-4335-7610 https://www.jsme.or.jp/conference/cmdconf26/index.html	
15～17	2026年日本表面真空学会学術講演会(JVSS2026)(郡山)	日本表面真空学会	TEL 03-3812-0266 taikai2026@jvss.jp	
16～18	第28回日本感性工学会大会(東京)	日本感性工学会	jske28@jske.org https://www.jske.org/conference/jske28/	
22	学生ポスター発表プレ討論会(秋田大)(本号533頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp	定員 30名
23～25	日本金属学会秋期講演大会・高校生ポスター発表(秋田大)(本号528頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/jimm2026fall	講演7.7 高校生ポ 7.14
23～25	M&M2026 材料力学カンファレンス(阪大)	日本機械学会	https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/mmdmpdconf2026/content/outline	
25	レアメタル研究会 シンポジウム(東大生産技研/ハイブリット開催)(本号546頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
28～29	第77回塑性加工連合講演会(香川大)	日本塑性加工学会	TEL 03-3435-8301 http://www.jstp.or.jp	
28～29	オンライン教育講座「材料組織弾性学の基礎と応用」(本号550頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/	
<b>2026年10月</b>				
6	第19回フラクトグラフィシンポジウム(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 fractosym@jsms.jp http://www.jsms.jp/	講演 7.31
6～7	第7回 EBSD 法による損傷評価講習会	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	9.11
6～9	第12回材料 WEEK(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	
7～9	Advanced Metallization Conference 2026 (ADMETA)(東京・オンライン)	応用物理学会	TEL 03-5962-3145 jimukyoku@admeta.org https://www.admeta.org/	
8	金属学会講習会「～電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用：電池から腐食まで～」(阪大)(本号549頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/symposium/seminar.html	9.29
19～23	ACSIN-16/ICSPM34(姫路)	応用物理学会	TEL 079-267-4909 heya@eng.u-hyogo.ac.jp https://dora.bk.tsukuba.ac.jp/event/acsin16/	
21～23	第73回材料と環境討論会(札幌)	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/731021.html	
22～23	第62回 X 線分析討論会(松江)	日本分析化学会 X 線分析研究懇談会	https://xbun.jsac.jp/conference/no62.html	
26～27	第25回アコースティック・エミッション総合コンファレンス―“音や振動”で拓くNDEの最前線―(北大)	日本非破壊検査協会	TEL 03-5609-4015 yasoshima@jsndi.or.jp https://sciences.jsndi.jp/acoustic/	
28～29	第54回日本ガスタービン学会定期講演会(下関)	日本ガスタービン学会	TEL 03-3365-0095 gtsj-office@gtsj.or.jp	

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
<b>2026年11月</b>				
1～6	【lead-Zinc 2026】11 <sup>th</sup> International Symposium on Lead and Zinc Processing 第11回鉛-亜鉛製錬に関する国際シンポジウム(仙台)	資源・素材学会	TEL 03-3402-0541 lead-zinc2026@mmij.or.jp	
6	レアメタル研究会・チタンシンポジウム(東大生産技研/ハイブリット開催)(本号546頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
8～13	The 12th International Conference on Multiscale Materials Modeling(韓国済州)	KIM(The Korean Institute of Metals and Materials)	TEL +82-2-573-6207 secretariat@mmm12.org https://www.mmm12.org/	
9～11	第37回疲労シンポジウム(伊勢)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimuj@jsms.jp http://fatigue.jsms.jp	
10	公開シンポジウム「大型プロジェクトによるバイオマテリアル研究開発」(神戸)	日本学術会議材料工学委員会・同バイオマテリアル分科会	nakano@mat.eng.osaka-u.ac.jp	
11～13	第47回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム(北九州)	超音波エレクトロニクス協会	TEL 03-3259-0766 steering@use-jp.org https://www.use-jp.org/USE2026/sponsor/index.html	
13	第28回ミレニアム・サイエンスフォーラム(東京)	ミレニアム・サイエンス・フォーラム	TEL 03-6744-4713 msf@oxinst.com https://www.msforum.jp/	
24～26	第55回結晶成長国内会議(JCCG-55)(北大)	日本結晶成長学会	TEL 070-5047-3339 jccg-55@jacg.jp https://www.jacg.jp/jp/event/2026/jccg-55/index.html	
26～27	第64回高温強度シンポジウム(奈良)	日本材料学会	TEL 075-761-5325 jimuj@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	参加 10.16
<b>2026年12月</b>				
2～4	日本中性子科学会第26回年会(九大)	日本中性子科学会	TEL 092-871-6631(6241) jsns2026@fukuoka-u.ac.jp	
3～4	第35回新構造・機能制御と傾斜機能材料シンポジウム(FGMs 2026)(北大)	傾斜機能材料研究会	https://fgms.net/event-info/domestic-symposium/	
8～9	第32回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム(Mate2026)(横浜)	スマートプロセス学会他	TEL 06-4798-2078 mate@glm-p.com https://sps-mste.jp/mate/	6.30
14～16	第52回固体イオニクス討論会(九州)	固体イオニクス学会	TEL 022-217-5341 ssij@ssj-j.org https://www.ssi-j.org/symp/ssij52/	事前 10.30
<b>2027年1月</b>				
8	レアメタル研究会・貴金属シンポジウム(東大生産技研)(本号547頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
<b>2027年3月</b>				
8～10	日本金属学会春期講演大会(東京科学大学大岡山キャンパス)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp	
12	レアメタル研究会(東大生産技研/ハイブリット開催)(本号547頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
<b>2027年6月</b>				
14～18	第11回世界製鉄会議(ICSTI 2027)(札幌)	日本鉄鋼協会	TEL 011-272-2151 icsti2027@c-linkage.co.jp https://www.icsti2027.com/	
<b>2027年9月</b>				
22～24	日本金属学会秋期講演大会(広島大学東広島キャンパス)	日本金属学会	TEL 022-223-3687 annualm@jimm.jp	



## 公益社団法人日本金属学会への入会のおすすめ

- ・会報「まてりあ」が毎月無料で配付されます。
- ・様々な場で大学や企業の研究者や技術者と学術・技術の交流ネットワークを作ることができます。
- ・講演大会で研究成果を発表して、分野の専門家と討議できます。
- ・研究成果を論文として日本金属学会誌や Materials Transactions 誌に発表できます。
- ・教科書、データブック、セミナーテキスト等の学術図書類を会員価格で購入できます。
- ・学生員は本会主催の企業説明会に参加できます。
- ・表彰・奨励制度があります。



## 新しい講習会企画：「金属学会講習会」が始まります！

本号549頁にてご案内しましたように、新しい講習会企画が始まります。  
本企画は、金属学に関連する各種のノウハウを学んでいただき、スキルアップを目指して  
いただくことを目的にしております。こちらも是非、ご活用下さい。



### おめでとうございます



下記の会員の方が、令和8年春の叙勲にてに受章されましたのでお知らせいた  
します。今後益々のご活躍とご健勝を祈念申し上げます。  
おめでとうございます。

#### 勲章 瑞宝章 中級章

- 教育研究功勞 工学院大学名誉教授 木村雄二 氏
- 教育研究功勞 茨城大学名誉教授 友田 陽 氏

～ 会員の皆さままで受章（賞）された方がおられましたら、事務局までご一報下さい。～



### 2025, 2026年度会報編集委員会 (五十音順, 敬称略)

編集委員長	鈴木真由美					
編集副委員長	上田 恭介					
委 員	池尾直子	井田駿太郎	井上 晋一	岩岡 秀明	植木 洸輔	宇部 卓司
	大塚 誠	大橋 勇介	小笹 良輔	川崎 由康	川西 咲子	郭 妍伶
	河野 義樹	北原 弘基	北村 一浩	XU Xiao	小嶋 隆幸	國枝 知徳
	小島 淳平	小山 元道	齊藤 雄太	佐藤 和久	佐藤 幸生	篠原 百合
	佐々木 秀顕	嶋田 雄介	新里 恵多	鈴木 賢紀	高橋 弘樹	高山 直樹
	竹田 修	田中 秀明	田辺 栄司	Chang Tso -Fu Mark	陳 鵬	塚田 祐貴
	土井 康太郎	豊木 研太郎	永井 崇	永瀬 丈嗣	袴田 昌高	長谷川 誠
	八田 武士	平野 満大	平山 恭介	細川 明秀	松垣 あいら	松本 洋明
	三井 好古	宮崎 秀俊	宮部 さやか	森谷 智一	諸岡 聡	山崎 重人
	山本 知一	吉年 規治	米田 鈴枝	李 誠鎬		

まてりあ 第65巻 第7号 (2026) 発行日 2026年7月1日 定価1,870円(本体1,700円+税10%)送料320円

発行所 公益社団法人日本金属学会

〒980-8544 仙台市青葉区一番町一丁目14-32

TEL 022-223-3685 FAX 022-223-6312

発行人 谷山 明

印刷所 小宮山印刷工業株式会社

発売所 丸善雄松堂株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川 1-28-23